



中学校・高等学校の部活動を応援する！軽音楽部マガジン

DIGIRECO.JR

デジレコ・ジュニア 2021年8月号 VOL.44

全国の高等学校軽音楽部に無料配布！

本誌は高等学校軽音楽部以外には配布しておりません。
写真掲載に関しては各高等学校の許可を得ています。

2,031校

電子版公開中



▶ダウンロード



パート別

「良い音」「好きな音」を奏でるための

音作りの基本

ロック解体新書

藤井 風／何なんw、ヤバイTシャツ屋さん／ヤバみ
ヨルシカ／ただ君に晴れ、あいみょん／マリーゴールド
ONE OK ROCK／Renegades

どんな仕事があるのかな？ まだ知らないことがいっぱい！

音楽／エンタメ業界 EXPO 2021 8/24

午前10時～午後4時
国立オリンピック記念
青少年総合センター

この夏休みに、将来の進路選択肢を広げよう 入場無料／予約制

最新情報は
こちらを！



特定非営利活動法人 (NPO法人)

全国学校軽音楽部協会 監修発行



keionkyo.org



Twitter



Facebook



YouTube

全国学校軽音楽部協会は 「部活動は教育の一環である」の理念のもと 高等学校軽音楽部の活動を応援しています。

現在、全国で軽音楽系の部活動が活発に行われ、多くの生徒が軽音楽を通して様々なことを学んでいます。それは、軽音楽部の「自主性」や「責任感」の伴う活動が学習意欲の向上につながり、「コミュニケーション」「チームワーク」「クリエイティビティ」といった社会で必要とされるスキルを育てることができる部活動だと認知されてきたからだと思います。しかし、その一方で、他の部活動に比べるとまだその運営方法や指導方法などが確立しておらず、学校単位、各都道府県の高等学校文化連盟軽音楽専門部や軽音楽連盟単位での活動にとどまっているのが現状です。また、大会における審査基準やレギュレーション、校外活動の範囲、部活動とバンド活動との違いなどに統一された定義がないことが軽音楽部の発展の妨げになっていると思います。

今後、軽音楽部の社会的な認知と発展が進み、生徒が部活動として正しく活動できる状態にするには、文化庁をはじめ、各都道府県の高文連専門部や連盟、顧問の先生方と協力しながら、全国規模の交流ができる場を作ることや軽音楽部員への直接的な支援、及び指導が必要だと思います。

私たちは、このような支援活動を推進するには、公平性と中立性を保ちながら、情報公開を通じて広く一般の方の賛同を得ることができる特定非営利活動法人としての活動が望ましいと考え、本協会を設立しました。これまでにも、情報誌の発行、大会や合同演奏会の運営支援、大会プログラムの発行、生徒や顧問への各種クリニックや講習会の開催、軽音楽連盟発足の支援などを行ってきました。今後も不特定、かつ多数の公益に寄与しながら、軽音楽を通して青少年の健全な育成を目指していきます。

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会

keionkyo.org



DiGiRECO.JR

DiGiRECO.JR - デジレコ・ジュニア -

■DiGiRECO.JR VOL.44
■AUG・2021 (第9巻5号通巻44号)
■創刊：平成25年12月18日 (水)
■発行：令和3年7月16日 (金)
■監修・発行 / 特定非営利活動法人 (NPO法人)
全国学校軽音楽部協会
〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-37-6-405
TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900
E-Mail：info@keionkyo.org
■企画・編集 / 株式会社ミュージックネットワーク

中学校・高等学校の部活動を応援する！軽音楽部マガジン
デジレコ・ジュニア
2021年8月号 VOL.44

全国の高等学校軽音楽部に無料配布！

本誌は高等学校軽音楽部以外には配布しておりません。
写真掲載に関しては各高等学校の許可を得ています。

2,031校

本誌に記載されている記事の内容や数字などの全部、または一部を無断で複製、引用することを禁じます。利用の際は当該協会までご一報ください。

編集長の言葉 ...4

配布校リスト ...8

コロナに負けるな！★パート別

おうち時間で基礎練習ダイジェスト ...24

ロック解体新書 ...26

藤井 風 / 何なんw

ヤバイTシャツ屋さん / ヤバみ

ヨルシカ / ただ君に晴れ

あいみょん / マリーゴールド

ONE OK ROCK / Renegades

DiGiRECO BAND CLINIC

東京都 駒澤学園女子中学・高等学校 軽音楽部 ...33

CONTENTS

特集

パート別

「良い音」「好きな音」を奏でるための

音作りの基本 ...13

iPhoneでできる

高音質 / 高解像度の映像撮影 ...34

これからの軽音楽部のスタンダードを先取り

ライブは「照明」で差をつけろ！ ...36

職業としての音楽 / エンタメ業界2021 ...38

どんな仕事があるのかな？
まだ知らないことがいっぱい！

音楽 / エンタメ業界
EXPO 2021

8/24 四

午前10時～午後4時
国立オリンピック記念
青少年総合センター

この夏休みに、将来の進路選択肢を広げよう

入場無料 / 予約制

最新情報は
こちらを！



弘法は筆を選ばず。私たちは弘法に非ず

昨年引き続き、今年も新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策で、部活動が例年通りにできていない地域は少なくないと思います。東京に4回目の緊急事態宣言が発令され、オリンピックが無観客開催となったことで、多くの軽音楽部の大会が中止になった昨年の夏を思い出しましたが、萩生田文部科学大臣が「部活動は学校の教育活動の一環で、大会が中止になることは子どもたちへの影響が大きい」との認識で、「部活動の大会や練習は適切な感染防止策を講じた上で、できる限り続けられるようにしてほしい」と発表したことで、当協会を含め、大会関係者は安堵していると思います。

さて、今月号の巻頭特集は「(パート別) 良い音、好きな音を奏でるための『音作りの基本』」です。楽器の演奏技術や表現力を高める際に見落されがちなのが「音(サウンド)」です。料理を例にすると、同じ材料を同じように調理しても「味」に差が出てきます。単に「料理をする」と言っても、そこには調理方法や使う器具に違いがあります。材料の下処理をどうするか、調味料のさじ加減や加熱具合、水分量、盛り付けまで、いろいろなところに料理人自身の「創意工夫」があるはず。それらは教科書通りであったり、あえて常識から外れていたり…試行錯誤を繰り返した「結果」だと思います。同じことが「楽器の演奏」にも言えます。記事を参考に楽器や機材の「調理方法」を試行錯誤して、自分の欲しかった「音

(サウンド)」を追求してください。「弘法は筆を選ばず」と言いますが、それは弘法大師の領域だからこそであり、私たちのような一般人は「筆=機材」に結果が左右されてしまいます。日頃から自分の楽器や機材をよく知り、整備して、慣れておくことが大切です。

最後に…来る8月24日、国立オリンピック記念青少年総合センターにて、音楽やエンタメ業界の多岐にわたる職業を紹介するイベント「音楽/エンタメ業界 EXPO 2021」を開催します。詳細は本誌6~7ページをはじめ、当協会のホームページやSNSをご覧ください。メインタイトルの「音楽/エンタメ業界 EXPO 2021」と、サブタイトルにある「どんな仕事があるのかな? まだ知らないことがいっぱい!」「この夏休みに、将来の進路選択肢を広げよう」が、このイベントの内容を物語っています。音楽、楽器、コンサート、イベント、テレビ、映像、アニメ、声優、ゲーム音楽、幼児教育、福祉介護など…興味や関心はあるものの、どんな仕事があるのかまでは、具体的によく知らないのではないのでしょうか。このイベントでは、幅広い仕事の種類やそれぞれの楽しさ、難しさ、やりがいをはじめ、必要とされるスキルなどを紹介し、将来の進路を考える際の視野を広げる一助になるイベントです。この夏休みを利用して、ぜひ会場に来てください。

では、また次号で、またはイベント会場でお会いしましょう。



三谷佳之 YOSHIYUKI MITANI
BLOOD SABBATH (www.bloodsabbath.com)

小学生で電気に興味を持つ。中学生でプリティッシュ・ロックに目覚め、将来はイギリスに住む!と妄想。英語は必須と直感。エレキ・ギターを弾きつつ、ジブセサイザーに興味を持ち、楽器より電気に傾倒。国立奈良工業高等専門学校電気工学科に進学。ロックバンドを組むが長続きせず。在学中、興味の対象は広告宣伝や販売促進、マーケティングに移る。某電子楽器メーカーに就職後、最新テクノロジーだった通信事業に興味を持ち、9年間の勤務を経て、独立。ミュージックネットワークを設立。インターネットのない時代から音楽と通信ネットワークの分野で数々の日本初のビジネスを立ち上げる。2000年の少し前、インターネット業界では当たり前の「コンテンツは無料」というコンセプトを雑誌に応用した「無料雑誌」を思い付き、創刊。2013年、高校の軽音楽部向けの無料雑誌「DIGIRECO.JR」を創刊。2018年、大学の軽音楽サークル向けの無料雑誌「DIGIRECO.SR」を創刊。同年、特定非営利活動法人「全国学校軽音楽部協会」を設立。

音楽面では約10年前にバンドへの興味が再燃。ハードロック系イベントを主催する。その後、主催するよりも出演する方が楽しそう…ということで方向転換。高専生時代から好きだったハウメタルの元祖「BLACK SABBATH」のトリビュート・バンド「BLOOD SABBATH」を結成。年間12回以上のライブを展開。編集長の立場を利用してBLACK SABBATHのメンバーに会うなど…やりたい放題の公私混同。2013年5月、直訳ロッカーの王様と日本語でBLACK SABBATHの名曲を演奏したアルバム「黒い安息日伝説」を発売。好調な売れ行きに気を良くして、現在、第2弾を計画中。2015年5月、BLACK SABBATHのギタリストであるトニー・アイオミのトリビュート・アルバムに参加。世界デビューを果たす。

※ 会社のホームページで設立以来の活動を紹介しています



音楽/エンタメ業界 EXPO2021

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会
理事長 三谷佳之
mitani@keionkyo.org
Twitter @yoshiyukimitani

YouTube チャンネル始めました。



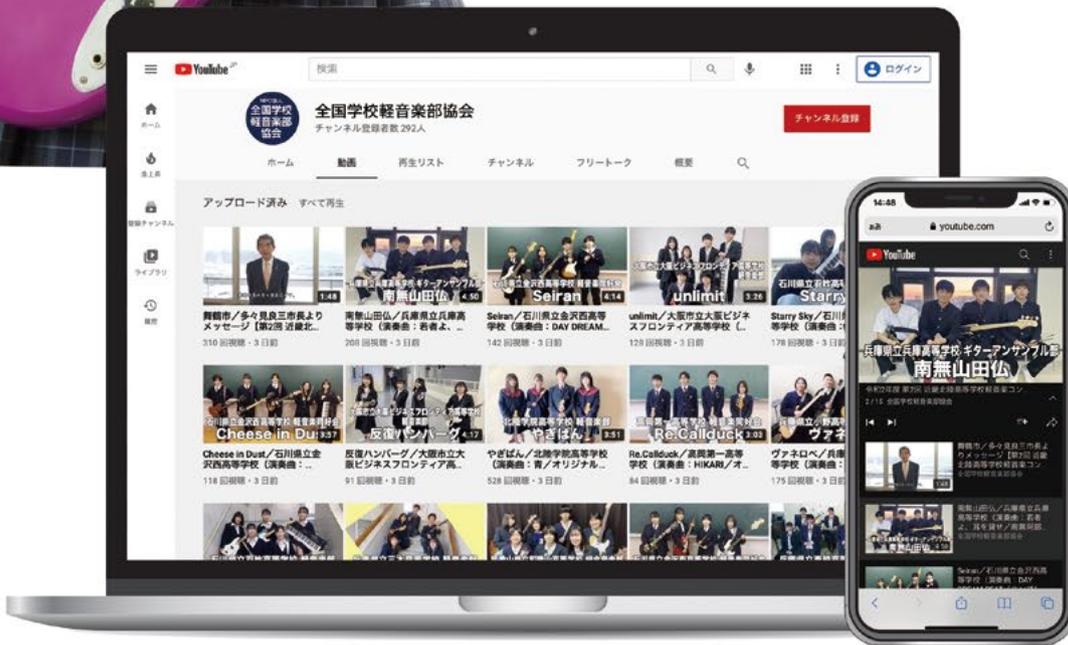
軽音協



チャンネル登録してね!

3 大会 54 バンドの 演奏映像を公開中!

第 8 回 愛知県高等学校軽音楽大会
第 3 回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会
第 2 回 近畿北陸高等学校軽音楽コンテスト代替企画
再生リストから1バンドずつ視聴できます。



他校のバンドの
演奏から学ぼう!

特定非営利活動法人

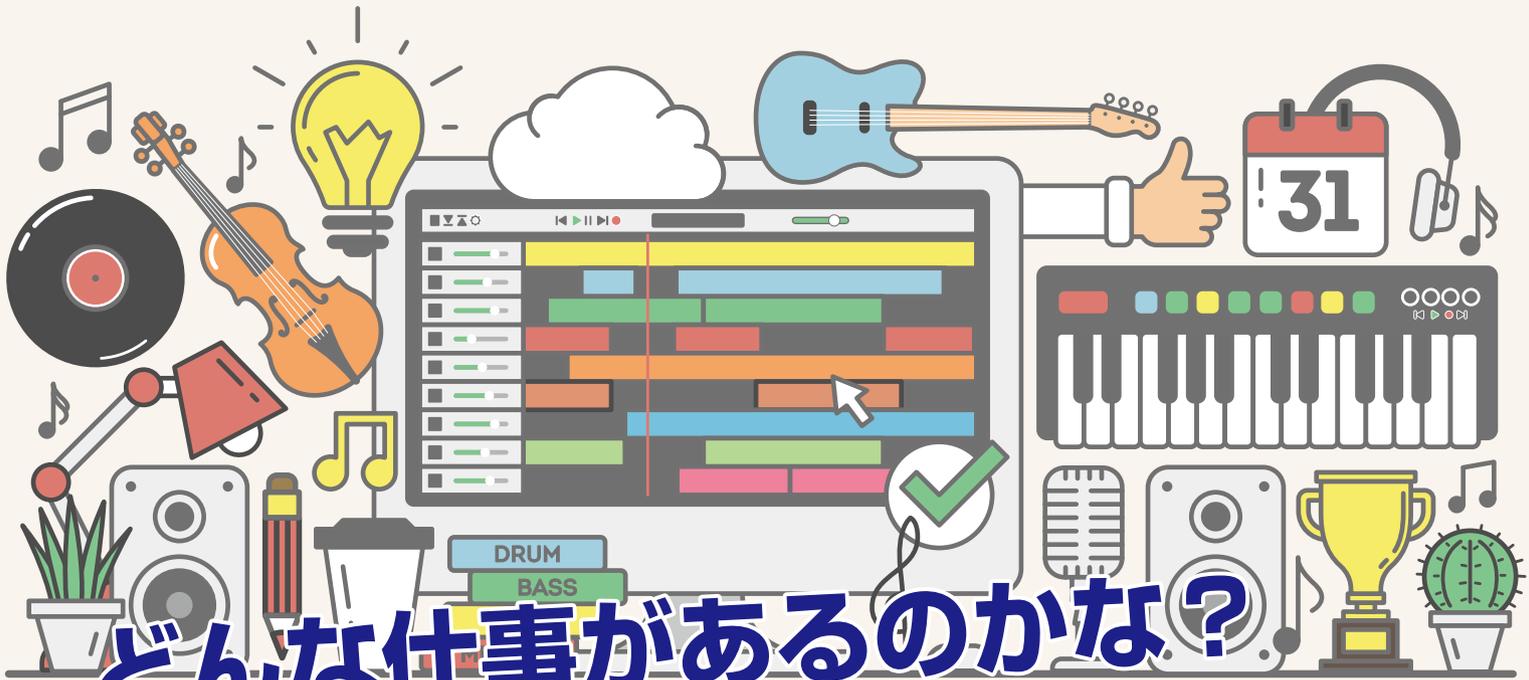
全国学校軽音楽部協会

keionkyo.org



Facebook





どんな仕事があるのかな？

まだ知らないことがいっぱい！

音楽／エンタメ業界 EXPO 2021

この夏休みに、将来の進路選択肢を広げよう



プレイヤー
レコーディング



コンサート
イベント



楽器製造
楽器メンテ



ゲーム音楽
アニメ音楽



テレビ
映像



声優
ナレーター



幼児教育
福祉介護

8/24 火

午前10時～午後4時
国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

入場無料／予約制

最新情報はこちら！



主催：特定非営利活動法人（NPO 法人）全国学校軽音楽部協会（keionkyo.org）
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団（kakehashi-foundation.jp）

新型コロナウイルス感染症対策実施中

どんな仕事があるのかな？ まだ知らないことがいっぱい！



最新情報はこちら！

～この夏休みに、将来の進路選択肢を広げよう～

YouTuber, A&R新人発掘, CGデザイナー, DTPデザイナー, MAエンジニア, PAエンジニア, Webアートディレクター, Webクリエイター, Webコンテンツプランナー, Webデザイナー, Webプログラマー, Webプロデューサー, アートディレクター, アナウンサー, アニソン歌手, アニメーター, アニメ演出家, アニメ音響監督, アニメ監督, アニメ誌編集者, アニメ美術監督, アレンジャー, イベント, イベントスタッフ, イベントダンサー, 楽器メーカー, イベントプロデューサー, イベント司会, イベント制作, イラストレーター, イベントプランナー, インストラクター, 音響オペレーター, インタビュアー, インペグ, ヴォーカリスト, エディトリアルデザイナー, ゲームデザイナー, キーボーディスト, ギタリスト, 雑誌編集者, キャラクターデザイナー, グッズ制作, グラフィックデザイナー, ゲームクリエイター, ゲームプログラマー, コンサートプロモーター, シナリオライター, スタイリスト, スタジオミュージシャン, サウンドエンジニア, ステージフォトグラファー, 音楽雑誌編集者, タレント, タレントマネージャー, ダンスインストラクター, テーマパークダンサー, デバッガー, テレビディレクター, サウンドクリエイター, テレビプロデューサー, テレビ番組制作, ドラマー, ナレーター, パーカッション, 楽器メンテナンス, バックダンサー, ビデオエンジニア, ファッションデザイナー, ファッションフォトグラファー, ファッション誌編集者, マニピュレーター, ファンクラブ運営, フィギュア原型師, ブッキングマネージャー, プロダクトデザイナー, プロモーター, ヘアメイク, ベーシスト, 声優アイドル, マスタリングエンジニア, マンガ家, ミュージカルダンサー, 音楽ビデオ制作, モデラー, ライトノベル作家, ライブハウススタッフ, 作曲家, 作詞家, ラジオDJ, リハーサルスタジオ, レコーディングスタジオ, レコード会社, 楽器テクニシャン, ローディー, 映画メイクスタッフ, 音楽クリエイター, 音楽プロダクション, 音楽ライター, 音楽著作権管理, 音響機材メーカー, 楽器店, 脚本家, 楽器クラフトマン, 芸能プロダクション, 広告デザイナー, 小説家, 照明オペレーター, 声優, 特殊メイクアップアーティスト, 舞台・衣装デザイナー, 舞台メイクスタッフ, 舞台監督, 舞台美術スタッフ, 放送作家

音楽、楽器、コンサート、イベント、テレビ、映像、アニメ、声優、ゲーム音楽、幼児教育、福祉介護など、中・高校生にとって興味や関心はあるものの、どんな仕事があるのかを具体的によく知らないのが音楽や楽器、エンターテインメントを取り巻く業界ではないでしょうか。本催事は幅広い職業の種類やそれぞれの楽しさ、難しさ、やりがいをはじめ、必要とされるスキルなどの紹介を講師や業界人が行い、将来のキャリア・プランを考える際の視野を広げる一助になるイベントです。

- 参加** 音楽／エンタメ系大学や専門学校、幼児教育／福祉系専門学校、楽器メーカー、レコード会社、イベント制作会社など
- 内容** 10以上の会場（部屋）ごとに毎時間30分程度の講演を行います。音楽やエンタメ業界の幅広い職業を全般的に紹介したり、現役の業界人が自身の仕事について語るほか、質疑応答のコーナーも用意しています。
- 情報** 出展校（社）の情報やプレゼンテーション（セミナー）の内容などは随時、ホームページやSNS、メール等で発信を行います（@keionkyo、及び keiokyo.org）。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、来場はホームページからの事前予約制になります。



▲国立オリンピック記念青少年総合センター



▲各部屋は定員の半分の収容とし、感染症対策を行います



▲音楽やエンタメ業界のプレゼンテーションを聴講します

会場では新型コロナウイルス感染症防止対策を行います

連絡先記入 クラスター発生対策として、連絡先の記入をお願いしています。	検温の徹底 入館（入室）時に非接触検温を行います。37.5度以上の方は参加できません。	マスク着用 マスクを着用していない方は参加できません。	マスク着用 スタッフや講師は講義中もマスクを着用します。	手指の消毒 各所に設置している手指消毒液をこまめに利用してください。	換気&休憩 換気に関しては1時間おきに10分程度の換気時間を設けます。	距離の確保 1～2m以上のソーシャル・ディスタンスを保っていただきます。	距離の確保 教壇と座席の距離を2m以上取ります。
---	---	---------------------------------------	--	--	---	--	------------------------------------

5435	水戸市	水戸平成学園高等学校 軽音楽クラブ	7188	甲府市	山梨県立甲府第一高等学校 フォークロック部	7606	刈谷市	愛知県立刈谷北高等学校 ギター同好会	5671	京都市	京都精華学園高等学校 軽音楽部
5438	石岡市	水戸工業大学附属高等学校 軽音楽部	7189	甲府市	山梨県立甲府第二高等学校 軽音楽部	7607	刈谷市	愛知県立刈谷南高等学校 フォーク部	5707	京都市	京都府立南丹高等学校 軽音楽部
5453	上田市	つくば国際大学高等学校 軽音楽部	7190	甲府市	山梨県立甲府南高等学校 軽音楽部	7642	小牧市	京都大学附属丘高等学校 軽音楽部	5677	京都市	京都府立嵯峨高等学校 軽音楽部
5446	上田市	茨城県立土浦第一高等学校 軽音楽同好会	7209	上野原市	日本大学明誠高等学校 音楽部	7772	小牧市	高専中部校 軽音楽部	5681	京都市	京都府立鶴岡高等学校 フォークソング部
5447	上田市	茨城県立土浦第二高等学校 音楽部	7205	大月市	山梨県立都留南高等学校 軽音楽部	7661	瀬戸市	愛知県立瀬戸工業高等学校 PSLMC	5660	京都市	京都府立嵐山高等学校 軽音楽部
5452	上田市	常総学院高等学校 軽音楽部	7204	塩谷市	山梨県立塩谷高等学校 フォークソング部	7658	瀬戸市	愛知県立瀬戸高等学校 フォークソング部	5710	京都市	京都府立山城高等学校 軽音楽部
5454	上田市	土浦日本大学中教育センター 音楽部	7179	南アルファ	山梨県立日原高等学校 軽音楽同好会	7659	瀬戸市	愛知県立瀬戸高等学校 アコースティックギター部	5685	京都市	京都府立朱雀高等学校 軽音楽部
5451	上田市	土浦日本大学中教育センター バンド部	7189	南アルファ	身延山高等学校 軽音楽同好会	7665	瀬戸市	聖カピタ女子高等学校 軽音楽部	9526	京都市	京都府立海陽高等学校 軽音楽部
5450	東京都	東京都立浅草高等学校 軽音楽同好会	7211	沼津市	山梨県立沼津高等学校 ギター部	7666	瀬戸市	聖カピタ女子高等学校 軽音楽部	9527	京都市	京都府立海陽高等学校 フォークソング部
5459	東京都	東京都立浅草高等学校 軽音楽部	7216	沼津市	山梨県立沼津高等学校 軽音楽部	7668	瀬戸市	愛知県立東浦高等学校 ギター部	5704	京都市	京都府立山崎高等学校 軽音楽部
5466	日立市	茨城キリスト教学園高等学校 フォークソング部	7172	北州市	山梨県立北北高等学校 軽音楽部	7694	知多市	愛知県立東浦高等学校 ギター部	5703	京都市	京都府立水南高等学校 軽音楽部
5464	日立市	茨城県立日立商業高等学校 軽音楽同好会	7203	北州市	帝京第三高等学校 軽音楽同好会	7710	知多市	日本福祉大学付属高等学校 音楽部	5682	京都市	京都府立西宮高等学校 軽音楽部
5460	日立市	茨城県立日立第一高等学校 ギター部	7218	北州市	北州市立甲府高等学校 ギター同好会	7679	知多市	愛知県立北北高等学校 ギター部	5675	京都市	京都府立洛東高等学校 フォークソング部
5463	日立市	茨城県立日立第二高等学校 軽音楽部	7218	北州市	北州市立甲府高等学校 ギター同好会	7589	東海市	愛知県立横須賀高等学校 軽音楽同好会	5669	京都市	京都府立北高等学校 音楽研究部
5468	日立市	明秀学園日立高等学校 フォークソング同好会	7297	安曇野市	長野県南安農薬高等学校 軽音楽部	7687	東海市	愛知県立東海商業高等学校 フォークソング部	5672	京都市	京都文教高等学校 軽音楽部
5470	鉾田市	茨城県立鉾田第二高等学校 音楽部	7306	安曇野市	長野県穂高商業高等学校 軽音楽部	7685	日進市	中部大津第一高等学校 軽音楽部	5595	京都市	大谷高等学校 軽音楽部
5474	鉾田市	豊田学園大学附属鉾田高等学校 軽音楽部	7307	安曇野市	長野県穂高高等学校 LMC 部	7684	日進市	愛知県立豊田工業高等学校 音楽部	5670	京都市	同志社高等学校 軽音楽部
5475	鉾田市	茨城県立鉾田第一高等学校 軽音楽部	7312	安曇野市	長野県明科高等学校 軽音楽部	7713	半田市	愛知県立半田高等学校 フォークソング部	5678	京都市	同志社高等学校 軽音楽部
5473	鉾田市	茨城県立鉾田第二高等学校 軽音楽部	7234	伊那市	長野県伊那北高等学校 軽音楽部	7567	鹿嶋市	愛知県立鹿嶋高等学校 軽音楽部	5679	京都市	平安女子中学校、高等学校 軽音楽部
5476	鉾田市	茨城県立鉾田第三高等学校 軽音楽部	7235	伊那市	長野県伊那南高等学校 軽音楽部	7726	鹿嶋市	愛知県立豊橋工科高等学校 音楽部	5712	京都市	洛星高等学校 軽音楽同好会
■栃木県			7251	伊那市	長野県塩谷高等学校 軽音楽部	7730	豊橋市	豊橋中央高等学校 軽音楽部	5691	京都市	洛陽総合高等学校 軽音楽部
5491	宇都宮市	宇都宮短期大学附属高等学校 軽音楽部	7237	塩谷市	長野県塩谷志志高等学校 軽音楽部	9500	豊田市	ルネサンス豊田高等学校 軽音楽部	5713	向日市	京都府立向日高等学校 フォークソング部
5482	宇都宮市	栃木県立宇都宮女子高等学校 軽音楽部	7295	塩谷市	長野県塩谷高等学校 ギター部	7735	豊田市	愛知県立豊田工業高等学校 音楽部	5716	城陽市	京都府立城陽高等学校 軽音楽部
5490	宇都宮市	宇都宮大学附属高等学校 軽音楽同好会	7239	塩谷市	長野県塩谷高等学校 ギター部	7740	豊田市	愛知県立豊田高等学校 ユーロック部	9503	京都市	京都府立南丹高等学校 軽音楽部
5487	宇都宮市	栃木県立宇都宮宮内高等学校 軽音楽部	7231	伊那市	長野県伊那南高等学校 軽音楽部	7737	半田市	愛知県立豊田高等学校 ギター部	5708	舞鶴市	舞鶴工業高等学校 軽音楽部
5492	宇都宮市	日々学園高等学校 軽音楽同好会	7232	伊那市	長野県伊那南高等学校 軽音楽部	7741	豊田市	愛知県立豊田高等学校 軽音楽部	■大阪府		
5498	宇都宮市	栃木県立佐野高等学校 ギター部	7246	伊那市	長野県伊那南高等学校 軽音楽部	7693	豊田市	京都府立豊田高等学校 音楽部	8040	大阪市	大阪府立枚方宮内高等学校 音楽部
5506	沼沼市	栃木県立鹿沼南高等学校 軽音楽同好会	7323	伊那市	東海大学付属諏訪高等学校 音楽部	7663	豊田市	星城高等学校 軽音楽部	4272	大阪市	大阪府立鶴岡工業高等学校 軽音楽部
9507	小山市	小山工業高等専門学校 軽音楽部	7248	伊那市	長野県駒ヶ根工業高等学校 軽音楽同好会	9525	名古屋市	KTC おおぞら高等学院 名古屋キャンパス	8047	大阪市	大阪府立都島第二工業高等学校 軽音楽部
5500	小山市	栃木県立小山南高等学校 軽音楽部	7278	伊那市	長野県駒ヶ根高等学校 軽音楽部	9530	名古屋市	クラーク記念国際高等学校 名古屋キャンパス 軽音楽部	8048	大阪市	大阪府立東成高等学校 フォークソング部
5508	小山市	栃木県立立北高等学校 軽音楽部	7269	伊那市	信濃学院高等学校 軽音楽部	9477	名古屋市	愛知県芸術高等学校 ユーロック部	8049	大阪市	大阪府立野田工科高等学校 軽音楽部
5529	足利市	栃木県立足利南高等学校 軽音楽部	7267	松本市	長野県立上田高等学校 軽音楽部	7084	名古屋市	愛知県立豊田高等学校 音楽部	7076	大阪市	大阪府立豊田工科高等学校 軽音楽部
5517	足利市	栃木県立足利高等学校 ギター同好会	7314	松本市	長野県県立南高等学校 軽音楽部	7566	名古屋市	愛知県立豊田高等学校 軽音楽部	8039	大阪市	大阪府立東成高等学校 軽音楽部
5518	足利市	栃木県立足利女子高等学校 軽音楽部	7315	松本市	長野県県立北高等学校 軽音楽部	7575	名古屋市	愛知県立豊田高等学校 軽音楽部	8042	大阪市	大阪府立西成高等学校 音楽部
5519	足利市	栃木県立足利南高等学校 フォーク部	7256	小諸市	長野県小諸高等学校 軽音楽部	7647	名古屋市	愛知県立昭和高等学校 軽音楽部	7979	大阪市	大阪府立河内高等学校 NMC (軽音楽)
5523	足利市	白鷺大学足利高等学校 Music Art Club	7257	小諸市	長野県小諸高等学校 軽音楽部	7648	名古屋市	愛知県立松島高等学校 音楽部	8044	大阪市	大阪府立東成高等学校 軽音楽部
5527	大田原市	栃木県立大田原女子高等学校 フォークソング部	7224	松本市	松山学園高等学校 軽音楽同好会	7656	名古屋市	愛知県立津島高等学校 軽音楽部	8019	大阪市	大阪府立尾花高等学校 軽音楽部
5532	栃木市	栃木県立宇都宮高等学校 軽音楽部	7259	松本市	松山学園高等学校 軽音楽部	7083	名古屋市	愛知県立津島高等学校 フォークソング部	7943	大阪市	興國高等学校 軽音楽部
5533	栃木市	栃木県立宇都宮高等学校 軽音楽部	7260	松本市	松山学園高等学校 軽音楽部	7084	名古屋市	愛知県立津島高等学校 ユーロック部	7976	大阪市	同志社高等学校 軽音楽部
5530	栃木市	栃木県立宇都宮女子高等学校 軽音楽部	7263	松本市	松山学園高等学校 軽音楽部	7766	名古屋市	愛知県立名古屋南高等学校 軽音楽部	8003	大阪市	海島高等学校 軽音楽部
5543	那須郡那須町	栃木県立那須清峰高等学校 軽音楽同好会	7260	松本市	長野県松本松ヶ丘高等学校 軽音楽部	7769	名古屋市	愛知県立明和高等学校 PM 部	4276	大阪市	大阪府立大正高等学校 軽音楽部
5547	日光市	栃木県立日光工業高等学校 軽音楽同好会	7261	松本市	長野県松本松ヶ丘高等学校 軽音楽部	7773	名古屋市	愛知県立津島高等学校 軽音楽部	7959	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5546	日光市	栃木県立今市高等学校 ギター部	7262	松本市	長野県松本工業高等学校 軽音楽部	7560	名古屋市	愛知県立津島工業高等学校 軽音楽部	8002	大阪市	大阪府立立花高等学校 ギター部
■群馬県			7263	松本市	長野県松本工業高等学校 ギター部	7610	名古屋市	筑波高等学校 軽音楽部	8135	大阪市	大阪府立大正高等学校 YMW 部
5557	安中市	群馬県高岡高等学校 軽音楽部	7264	松本市	長野県松本工業高等学校 軽音楽部	9499	名古屋市	筑波女子専門学校 高校課程 軽音楽部	8061	大阪市	大阪府立大正高等学校 軽音楽部
5560	伊勢崎市	群馬県立伊勢崎南高等学校 軽音楽部	7265	松本市	長野県松本工業高等学校 FMC 部	7613	名古屋市	金城学院高等学校 軽音楽部	7967	大阪市	大阪府立大正高等学校 軽音楽部
5565	伊勢崎市	群馬県立伊勢崎南高等学校 軽音楽部	7266	伊那市	長野県伊那南高等学校 軽音楽同好会	7614	名古屋市	金城学院高等学校 軽音楽部	7965	大阪市	大阪府立大正高等学校 軽音楽部
5562	甘楽町	群馬県立仁仁田高等学校 軽音楽愛好会	7282	伊那市	長野県伊那南高等学校 軽音楽部	7632	名古屋市	宇都宮高等学校 軽音楽部	8052	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5570	桐生市	群馬県立桐生西高等学校 軽音楽部	7311	上野原市	長野県具輪進修高等学校 軽音楽部	7657	名古屋市	樹木女子高等学校 ギター部	7936	大阪市	関西大学附属高等学校 フォークソング部
5577	吾妻郡	群馬県立吾妻中央高等学校 音楽部	7227	上野原市	上田西高等学校 軽音楽部	7674	名古屋市	中央大学附属高等学校 軽音楽部	8034	大阪市	大阪府立立花高等学校 フォークソング部
5579	吾妻郡	群馬県立長原高等学校 軽音楽サークル	7247	上野原市	長野県丸上高等学校 軽音楽部	7682	名古屋市	中央大学附属高等学校 バンド研究部	8057	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5583	高崎市	群馬県立高崎工業高等学校 軽音楽部	7267	上野原市	長野県丸上高等学校 現代音楽班	7695	名古屋市	東洋学園高等学校 軽音楽同好会	4286	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5589	高崎市	群馬県立高崎東高等学校 軽音楽部	7268	上野原市	長野県丸上高等学校 軽音楽班	7696	名古屋市	東洋学園高等学校 軽音楽同好会	8120	大阪市	大阪府立立花高等学校 フォークソング部
5592	高崎市	群馬県立高崎南高等学校 軽音楽部	7270	上野原市	長野県丸上高等学校 軽音楽部	7700	名古屋市	東洋学園高等学校 軽音楽同好会	8041	大阪市	大阪府立立花高等学校 フォークソング部
5591	高崎市	群馬県立高崎南高等学校 軽音楽部	7270	上野原市	長野県丸上高等学校 軽音楽部	7703	名古屋市	東洋学園高等学校 フォークソング部	8041	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5590	高崎市	群馬県立高崎南高等学校 軽音楽部	7252	藤原市	長野県坂城高等学校 軽音楽部	7705	名古屋市	南山中学校、高等学校女子部 ギター部	7985	大阪市	大阪府立高崎高等学校 軽音楽部
5592	高崎市	群馬県立高崎南高等学校 軽音楽部	7245	藤原市	長野県坂城高等学校 軽音楽部	7744	名古屋市	名古屋経済大学高蔵高等学校 軽音楽部	8091	大阪市	大阪府立立花高等学校 CS1・II 部 軽音楽部
5597	佐波郡	群馬県立五木村高等学校 軽音楽部	7305	藤原市	長野県坂城高等学校 バンド部	5640	名古屋市	名古屋経済大学市部高等学校 軽音楽部	8062	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5599	渋川市	群馬県立渋川工業高等学校 軽音楽部	7271	藤原市	長野県坂城高等学校 軽音楽部	7747	名古屋市	名古屋国際中学校、高等学校 軽音楽部	7993	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5602	沼田市	群馬県立沼田高等学校 軽音楽部	7272	藤原市	長野県坂城高等学校 フォークソング部	7749	名古屋市	名古屋国際中学校、高等学校 軽音楽部	7920	大阪市	大阪府立立花高等学校 音楽部
5604	沼田市	群馬県立沼田女子高等学校 軽音楽部	7275	藤原市	長野県坂城高等学校 FMC 同好会	7751	名古屋市	名古屋立立花高等学校 ギター同好会	8036	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5616	前橋市	群馬県立前橋清風高等学校 軽音楽部	7276	藤原市	長野県坂城高等学校 FMC 同好会	7752	名古屋市	名古屋立立花高等学校 軽音楽部	8056	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5614	前橋市	群馬県立前橋清風高等学校 定時制夜間部	7274	藤原市	長野県坂城高等学校 軽音楽部	7754	名古屋市	名古屋立立花高等学校 軽音楽部	7998	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5617	前橋市	群馬県立前橋清風高等学校 定時制夜間部	7274	藤原市	長野県坂城高等学校 軽音楽部	7754	名古屋市	名古屋立立花高等学校 軽音楽部	7913	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5624	太田市	群馬県立新田高等学校 軽音楽部	7242	千曲市	長野県鹿代南高等学校 フォークソング部	7759	名古屋市	名古屋立立花高等学校 軽音楽部	8037	大阪市	大阪府立立花高等学校 音楽部
5623	太田市	群馬県立太田東高等学校 軽音楽部	7280	千曲市	長野県鹿代南高等学校 軽音楽部	7760	名古屋市	名古屋立立花高等学校 軽音楽部	7918	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5626	太田市	群馬県立太田東高等学校 軽音楽部	7285	中野市	長野県鹿代南高等学校 軽音楽部	7763	名古屋市	名古屋立立花高等学校 軽音楽部	8090	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5629	藤岡市	群馬県立藤岡南高等学校 軽音楽部	7263	長野市	長野県鹿代南高等学校 軽音楽部	7764	名古屋市	名古屋立立花高等学校 軽音楽部	8066	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5637	高崎市	群馬県立高崎南高等学校 軽音楽部	7259	長野市	長野県鹿代南高等学校 軽音楽部	7766	名古屋市	名古屋立立花高等学校 軽音楽部	8066	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5634	邑楽郡	群馬県立板倉高等学校 軽音楽部	7259	長野市	長野県鹿代南高等学校 軽音楽部	7766	名古屋市	名古屋立立花高等学校 軽音楽部	8066	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
■新潟県			7286	長野市	長野県鹿代南高等学校 軽音楽部	7774	伊賀市	三重県立あけぼの学園高等学校 軽音楽部	4282	大阪市	桃山学院高等学校 軽音楽部
6925	加茂市	加茂学院高等学校 軽音楽同好会	7287	長野市	長野県鹿代南高等学校 軽音楽部	7788	伊勢市	三重県立宇山山田商業高等学校 軽音楽部	8130	大阪市	明浄学院高等学校 軽音楽部
6945	佐渡郡	新潟県立佐渡高等学校 音楽部	7288	長野市	長野県鹿代南高等学校 軽音楽部	7792	宇治市	三重県立亀山高等学校 軽音楽部	7931	大阪市	建国高等学校 軽音楽部
6946	佐渡郡	新潟県立佐渡総合高等学校 音楽部	7289	長野市	長野県鹿代南高等学校 フォークソング部	7797	桑名市	三重県立桑名高等学校 軽音楽同好会	4289	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6950	三条市	新潟県立三条東高等学校 軽音楽同好会	7282	長野市	長野県鹿代南高等学校 フォークソング部	7798	桑名市	三重県立桑名高等学校 軽音楽部	7965	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6951	三条市	新潟県立三条東高等学校 軽音楽部	7283	長野市	長野県鹿代南高等学校 フォークソング部	7800	四日市市	三重県立四日市工業高等学校 軽音楽部	8140	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6951	糸魚川市	新潟県立糸魚川高等学校 軽音楽部	9506	長野市	長野県工業高等専門学校 軽音楽部	7804	四日市市	三重県立四日市工業高等学校 軽音楽部	8140	大阪市	浪速高等学校 軽音楽部
6952	糸魚川市	新潟県立糸魚川白川高等学校 軽音楽部	7317	長野市	長野県工業高等専門学校 軽音楽部	7807	四日市市	三重県立四日市工業高等学校 軽音楽部	7992	大阪市	城南学園高等学校 軽音楽部
6954	十日町市	新潟県立十日町総合高等学校 音楽部	7318	長野市	長野県工業高等専門学校 軽音楽部	7841	四日市市	三重県立北星高等学校 バンド部	7962	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6959	十日町市	新潟県立十日町総合高等学校 軽音楽同好会	7319	長野市	長野県工業高等専門学校 軽音楽部	7823	四日市市	大橋学園高等学校 軽音楽部	8010	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6932	上越市	関根学園高等学校 軽音楽同好会	7320	長野市	長野県工業高等専門学校 軽音楽部	7814	松阪市	三重県立立花高等学校 ギター同好会	4298	大阪市	興英学園高等学校 軽音楽部
6939	上越市	高田高等学校 軽音楽同好会	7296	東海市	長野県南陽高等学校 軽音楽部	9522	津市	三重県立立花高等学校 軽音楽部	8049	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6941	上越市	上越高等学校 軽音楽部	7300	南砺市	長野県立南高等学校 軽音楽部	7826	津市	三重県立立花高等学校 軽音楽部	8062	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6943	上越市	新潟県立高田北高等学校 軽音楽同好会	7301	南砺市	長野県立南高等学校 軽音楽部	7829	津市	三重県立立花高等学校 オリジナル部	4284	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6961	上越市	新潟県立上越総合技術専門学校 軽音楽同好会	7302	南砺市	長野県立南高等学校 軽音楽部	7831	津市	三重県立立花高等学校 ロック部	8051	大阪市	大阪府立立花高等学校 音楽部
6930	新潟市	新潟県立巻高等学校 ギター部	7304	南砺市	長野県立南高等学校 軽音楽部	7834	津市	南山高等学校 けいおんサークル	7922	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6965	新潟市	新潟県立新潟工業高等学校 音楽部	7283	北安曇郡	長野県立北安曇高等学校 軽音楽部	7833	佐倉部	三重県立立花高等学校 軽音楽部	4292	大阪市	大阪府立立花高等学校 フォークソング部
6974	新潟市	新潟県立新潟西高等学校 軽音楽同好会	7298	北安曇郡	長野県立北安曇高等学校 軽音楽部	7840	佐倉部	三重県立立花高等学校 軽音楽部	4273	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6977	新潟市	新潟県立新潟中央高等学校 ギター部	7249	北安曇郡	長野県立北安曇高等学校 軽音楽部	7817	鈴鹿市	三重県立立花高等学校 吹奏楽部 軽音楽班	9545	大阪市	関西学院高等学校 軽音楽部
6978	新潟市	新潟県立新潟中央高等学校 ギター部	7249	北安曇郡	長野県立北安曇高等学校 軽音楽部	7817	鈴鹿市	三重県立立花高等学校 吹奏楽部 軽音楽班	9545	大阪市	関西学院高等学校 軽音楽部
7024	新潟市	新潟県立巻高等学校 ギター部	7313	北安曇郡	長野県立北安曇高等学校 軽音楽部	7837	鈴鹿市	三重県立立花高等学校 軽音楽部	8064	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6970	新潟市	新潟市立明鏡高等学校 音楽部	7819	鈴鹿市	三重県立立花高等学校 軽音楽部	7839	鈴鹿市	三重県立立花高等学校 軽音楽部	8112	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6973	新潟市	新潟清心女子高等学校 軽音楽部	7335	可児市	岐阜県立可児高等学校 軽音楽部	9512	鈴鹿市	鈴鹿工業高等専門学校 アコースティックギター部	8079	大阪市	天王寺高等学校 軽音楽部
7025	新潟市	北越高等学校 軽音楽同好会	7327	岐阜市	岐阜県立岐阜高等学校 軽音楽部	7851	津市	三重県立立花高等学校 軽音楽部	8085	大阪市	大阪府立立花高等学校 ギター部
6988	新潟市	新潟県立新発田南高等学校 ギター同好会	7366	岐阜市	清美高等学校 フォークソング部	7851	津市	三重県立立花高等学校 軽音楽部	7949	大阪市	金粟女子高等学校 フォークソング部
6987	新潟市	新潟県立中央高等学校 軽音楽同好会	739								

Table with 4 columns: School Name, Department, School Name, Department. Lists various schools and their respective departments across multiple pages.

軽音楽部の困っているに応えます。



個人の楽器や部室の機材、技術指導など
お困りの際は、軽音協までお気軽にご相談ください。

まずはお電話を… TEL : 045-913-0901 E-mail : info@keionkyo.org

騒音問題はサイレント・システムが解決

バンド練習も個人練習も、外に音を出さない。新しい時代の軽音楽部の練習環境と機材。

軽音楽部のオール電化計画



紹介映像
はこちら！



デジタル・ミキサー
ZOOM / L-12



電子ドラム
Roland / TD-1DMK



本当に出音は小さいのか？ 操作は難しくないのか？ 実際に試したい方は軽音協までお電話ください。





「良い音」「好きな音」を奏でるための

音作りの基本



◆ *Music Instrument* ◆

ギターやベース、ドラム、キーボードなどは「楽器」です。ボーカルも考えようによっては、体を使って音を出す楽器だと言えるでしょう。軽音楽部で皆さんが行っていることは、その楽器を使って行う「音楽」です。フレーズの練習も大事ですが、そのフレーズをどんな音で奏でるのは、音楽をする者にとって疎かにしてはいけない部分です。もちろん、演奏の仕方や発声の仕方でも音色は変わってきますが、まずは音楽をするための道具である「楽器と機材の音作りの方法」を学びましょう。

わからないうちは、積極的にツマミやボタンを触って音の違いを体験していくことも大事です。自分の目指すサウンドを見つけ、自分好みのサウンドが作れるようになると、皆さんが普段行っていることがただの「フレーズの集合体」ではなく、立派な「音楽」になっていきます。それぞれのパートの音作りの基本を見ていきましょう。

「良い音」「好きな音」を奏でるための

ボーカルの 音作りの基本

「ボーカルは楽器じゃないから音作りは関係ないんじゃないか」と思う人もいるかもしれませんが、しかし、ボーカルも体を使った楽器です。その意識を持つだけでもボーカリストとしてのスキルは上がっていきます。楽器を演奏する人が楽器を扱うのと同じように、「音色」に関する様々なことを知っておきましょう。

余裕のための準備をする

楽器を演奏する人にとって、使用する楽器の構造を理解していることが良い演奏につながるように、ボーカリストも「人間はどうやって声を出しているのか」を熟知することでテクニックは向上します。体を楽器として捉えて、「地声」の音作りを強化していきましょう。

人間は、主に体の3つのエリアによって発声しています(図)。Aエリアは「呼吸をコントロールするエリア」、Bエリアは「声のオン/オフと高低をコントロールするエリア」、Cエリアは「声の音色をコントロールするエリア」です。もちろん、歌う時も同様です。

声の「ボリューム」と「トーン」

バンドのボーカリストにまず求められるのは「声量」です。バンドの中で歌うことは、カラオケで歌うこととはまったく違います。特に、音響設備の整っていない一般教室などでバンド練習

をしている場合は、響きすぎる楽器陣の演奏に負けないような声量が必要になってきます。声量が十分にあると、しっかりとメロディーが歌え、客席からも歌詞がよく聴き取れるようになります。さらに、発声が安定するため声がひっくり返ってしまうのを防いだり、音色をコントロールしやすくなります。

声量をアップするには、Aエリアでの「腹式呼吸」をマスターすることが重要です。腹式呼吸とは、空気を吸った時にお腹が膨らんで、吐いた時にお腹が凹む呼吸法です(写真1)。難しく思うかもしれませんが、人間は眠っている時やあくびをする時には腹式呼吸をしています。練習していけば、必ず意識してできるようになります。もちろん、声を出す前の発声練習や「リップロール」などの日々のトレーニングも声量アップに有効です。

声のトーン(明るさ)は、Cエリアで調節します。声帯で鳴った音を、声帯より先の喉の奥や舌、歯、唇の動きの変化と鼻腔の共鳴によって行います。しかし、喉が閉まっている状態では、声の音色に変化をつける幅が狭くなってしまいます。人間は、体内にバイ菌などが入らないようにする

ために、本能的に口を開けると舌根が上がる(喉が閉まる)ようになっています。それを、舌根を下げたまま、力を抜いて口だけを開けて発声することができれば、太くて芯のある声が出やすくなります。そして、次第にはっきりと声の音色に変化をつけられるようになります。意識的にリップロールの状態から自然に発声できることを目指します。

トーン・コントロールは、口の開き具合でも調節することができます。同じ「あー」という声を、口を大きく開けて発声した時と閉じぎみで発声した時では、声のトーンが変わります。鏡の前で口の開き具合と声の音色の違いを比べてみましょう(写真2)。

ミキサーを使いこなす

マイクで拾った声は、ミキサーに入力されてPAスピーカーから出力します。そこまでがボーカリストの「音作り」に関係します。ミキサーの使い方や周波数特性を調整するEQ(イコライザー)の使い方、エフェクトのかけ方などを理

Cエリア

音色

Bエリア

オン/オフ、音程

Aエリア

呼吸



写真1 腹式呼吸をマスターして音量アップをしよう



写真2 口の使い方を意識して音色の調整をしよう

▲図 Aエリアは肺、腹筋、横隔膜など。Bエリアは声帯。Cエリアは口、鼻、舌など



写真3 ミキサーはフェーダーもツマミも「0」が基本



写真4 内蔵エフェクトを全部試してみよう



写真5 マイクの扱い方も音作りに関わる重要なポイント。まずは正しく使うことを心がけよう

解して、自分の声の音量や音色を整えたり加工できるようにしましょう。

ミキサーを使用する時は、まずEQやGAIN(ゲイン、入力する音量の調節)、AUX(エフェクトの音量調節)などのツマミが上がっていないことを必ず確認してください。ボーカルは何も加工されていない音が基本です(写真3)。バンド演奏中に声が小さいと感じたら、まずはフェーダーではなく、GAINのツマミを上げて調節します。しかし、上げすぎは禁物なので、4や5あたりの目盛まで上げて小さいようであれば、スピーカーや楽器アンプの位置、自分の立ち位置などを考え直しましょう。

ボーカル・マイクのボリュームを上げると、まれに「キーン」とか「ボン」といったハウリング現象が起きる場合があります。そんな時は、EQのツマミでハウリングを起こしている帯域の音量を下げます。例えば、高音域のハウリングの場合は「HI(高音)」のツマミ、低音域のハウリングなら「LOW

(低音)」のツマミを下げるようにします。ただし、下げすぎると音がこもってしまうので、マイクがスピーカーに向かない位置に移動するなどの対処をしましょう。

上級者ともなれば、EQの効果を逆手にとって積極的に声の音質をコントロールすることも可能ですが、それはミキサーの使い方に慣れてからにしましょう。

声にエフェクトをかける

一般的なミキサーには数種類のエフェクターが内蔵されています(写真4)。ライブでは音響エンジニアが適切なエフェクトをかけてくれますが、練習の時には自分で操作しなければなりません。ボーカルに使うエフェクターは、声に広がりを出す「空間系」がメインです。「リバーブ(Reverb)」は残響のことで、一般的には

HALL(コンサート・ホール)、ROOM(部屋)、STAGE(ステージ)、PLATE(鉄板)などの種類があります。他に、「エコー(Echo)」や「ディレイ(Delay)」といった、音がやまびこのように遅れて返ってくるエフェクト、短いディレイに揺らぎ(ビブラート)を加えた「コーラス(Chorus)」などがあります。機種によってエフェクトの種類や操作方法は様々ですが、使用しているミキサーの説明書をよく読んだり先輩に聞いたりして、かかり具合に注意しながら調節してみましょう。

さらに、もっと特殊なエフェクト効果が必要であれば、ギタリストのように外付けのエフェクターを自分で持ち込むという方法もあります。この方法だと足元で操作ができて、ライブの時にもいつもと同じエフェクト効果を出すことができます。ライブで使う場合は、しっかりとセッティング・シートに記入しておくなど、前もって音響スタッフに伝えておきましょう。

プラスα

変化球ボイスで音色に幅を出す

ボーカリストがよく使う地声以外の音質の声には、ファルセット(裏声)、ミックス・ボイス、ウィスパー・ボイス、シャウト・ボイスなどがあります。特殊なものでは喉を開けて発声するデス・ボイスなんていうものもありますが、野球のピッチャーに例えると、地声が直球で、その他の声は「変化球」と言えるかもしれません。球種がストレートだけでなく、得意球としていくつか変化球

を持っているとピッチングに幅が出ます。ボーカルも、地声と変化球ボイスを混ぜて歌うことで、豊かな表現が可能となります。

しかし、変化球ボイスはどれもしっかりと地声が発声できている必要があります。興味がある人は、まず腹式呼吸や口腔の使い方など、基本を身につけてから挑戦してみてください。



▲変化球を持っていると表現に幅が出る!

「良い音」「好きな音」を奏でるための

ギター の音作りの基本

ギターの音色に求められるもの

ギターの奏でるサウンドによって、楽曲のイメージは様々に変化します。従って、ギターはメロディーの抑揚や曲調に合った音作りをすることが大事です。例えば、激しい曲調ならハードでエモーショナルなサウンドだったり、静かで優しい曲調ならクリーンで透明感のあるサウンド…というように、場面に応じて音に表情をつけていくことが求められます。そのためには、「ギター本体での音作り」「アンプのセッティング」「エフェクターの選び方」という3つがポイントとなります。この中の1つでも欠けていると、良いサウンドは望めません。

ギター本体での音色の変化

ギターには、弦の響きを拾って電気信号化して音を出すための「ピックアップ・マイク（以下、ピックアップ）」が、通常2つから3つ搭載されています（写真1）。そして、そのピックアップを調節するための「VOLUME」と「TONE」というツマミ（コントロール・ノブ）があります。これらを使いこなすことで、ギターの音にバリエーションが生まれます。

ピックアップは、ボディのエンド側（ブリッジ側）に搭載されているものを「リア・ピックアップ」、ネック側に搭載されているものを「フロント・ピックアップ」と呼び、3つ搭載されている場合は、真ん中を「センター・ピックアップ」と呼びます。音色は、リアが最も硬くクリアな印象で、ネックに近くなるほど丸く柔らかい音になります。ハードに歪ませたい場合はリア、クリーンで優しい音を出したい時はフロント…というように、エフェクターで音を加工する前に、まずどのピックアップを使うかを考えると良いでしょう。

VOLUMEとTONEは、通常フルにしておきます。VOLUMEを絞ると出力が下がり、エフェクターの効果も弱くなります。ギターの機種によっては音質自体が変化する場合もあります。TONEは、絞ると高音域が削れてこもった音になります。意図的に絞る場合もありますが、音の抜けが悪くなるので注意が必要です。これらコントロール系のツマミを上手に使うとサウンドにバリエーションが出るので、将来的には目

いくらギターを弾くテクニックがあっても、音が良くなければ音楽になりません。良い音だと「ジャン」とコードを一発掻き鳴らしただけでも胸にグッと響きます。音作りは、使用する機材の効果を知って最大限に駆使しながら、最終的には自分の耳を頼りに構築していきます。まずは、基本的な音作りを覚えましょう。



写真2 目で確認しなくてもノブに自然に手がいくようになる

で確認しなくても自然に手が伸び、回す感覚だけで操作できるようなることを目指しましょう（写真2）。

ギター・アンプでの音色の変化

一般的なギター・アンプには、高音域を調整する「TREBLE（トレブル）」、中音域を調整する「MIDDLE（ミドル）」、低音域を調整する「BASS（ベース）」というトーン・コントロールが付いています。これらのツマミは、「0」になっているとVOLUMEを上げても音量が思うように上がらないので、音を出す前にツマミの印が真上になるまで上げておきましょう（写真3）。この状態から各トーン・コントロールを調節して音を作るのですが、はじめはなかなか難しいと思うので、先輩や先生に聞いたり、好きなギタリストのセッティングを真似することから始めてみてください。

コツを簡単に聴感で言うと、音がキンキンしていたらTREBLEを下げ、モコモコしていたら上げる。5弦や6弦を弾いた時にポワンポワンしていたらBASSを下げ、カリカリしていたら上げる感じです。MIDDLEは鼻をつまんだような音になっていたら下げてください。軽音楽部



写真1 ピックアップの代表的なレイアウト。ネック側に近いほど音質は丸くなる



写真3 トーン・コントロールを写真のように上げてから音を出そう。左側にあるのが BRI スイッチ

で使用率が高い Roland 社の「JC-120」というギター・アンプなどに付いている「BRI (ブライツ・スイッチ)」は、TREBLE よりもさらに上の高域を強調するスイッチです。ON にするとギラついた音になるので、Treble を「0」から少しずつ上げて調節してください。また、バンドで演奏している時に自分の音が他の楽器に埋れて聴こえづらいと感じたら、MIDDLE を少し上げてみたり、BRI を ON にして高域を調節してみると改善されることがあります。

ちなみに、JC-120 にはインプット・ジャックが2つあるのですが、通常は「HIGH」を使用します。音を出してみて歪みすぎているようであれば「LOW」を試してみてください。HIGH と LOW は入力感度の違いですが、双方で音質も違うので最終的にはエフェクターなどを通した時に最適な方を使用しましょう。

アンプによっては、超高域の音質を調節する「PRESENCE (プレゼンス)」、超低音を調節する「RESONANCE (レゾナンス)」や、歪み具合を調節する「GAIN (ゲイン)」などのツマミが付いています。PRESENCE は音がぼやけて聴こえる時などに上げると音の輪郭がはっきりしますが、上げすぎると音がギラギラして線が細くなってしまいますので注意が必要です。

RESONANCE は、うまく使えば音をヘヴィーにしてくれますが、低音の音の分離が悪くなってしまふこともあるので、こちらも上げすぎには気をつけましょう。

ギター・アンプで基本的なサウンドを作ること、エフェクターの効果をより引き出すためにも大事な作業です。

エフェクターでの音色の変化

ギターは、エフェクターを使って様々なサウンドを出すことができます。基本となる音色は「歪み系」と「クリーン系」に分けられます。



写真4 代表的な歪み系のコンパクト・エフェクター。ファズ (左)、オーバー・ドライブ (中)、ディストーション (右)



歪み系は大きく「ファズ (FUZZ)」「オーバー・ドライブ (OVER DRIVE)」「ディストーション (DISTORTION)」に分類されます(写真4)。ファズはサウンドが個性的なので、最初に使用するならオーバー・ドライブ系かディストーション系がオススメです。オーバー・ドライブはナチュラルかつソフトに歪むので、コードを弾いても音の分離が良く、和音のハーモニーもしっかりと出ます。しかし、ハードな楽曲にはやや非力かもしれません。ディストーションはオーバー・ドライブ系に比べて歪みが強く、ハードさを強調したプレイやギター・ソロを弾く時によく合います。

クリーン・サウンドも、エフェクターを使用することでより魅力的な音になります。代表的なエフェクターは、「ディレイ (DELAY)」と「コーラス (CHORUS)」です。ディレイは、いわゆる「やまびこ効果」というもので、弾いた音が決められた間隔で遅れて繰り返し聴こえてきます。コーラスは、大袈裟に言うと同じフレーズを何人ものギタリストと一緒に弾いているかのような効果を生み、サウンドに広がりが出ます。これらは、サウンドにとっても奥行きと広がりが出るので、「空間系」と呼ばれています。セッティングする場合は、必ず歪み系のエフェクターの後につなぐようにしてください。前につないでしまうと、同時に使った時に音が濁ってしまいます。

プラスα

初心者にも最適!? 「マルチ・エフェクター」

様々な音色を出すためには、エフェクターがいくつも必要になってきます。しかし、どんなエフェクターを使えば良いのかわからないという人も多いでしょう。そんな時に入門編としても重宝するのが、数種類のエフェクターが入っている「マルチ・エフェクター」です。触りながら組み合わせの効果をいろいろと遊び感覚で試すことができ、しかも最近は小型でリーズナ

ブルな機種も販売されています。ヘッドホン端子や音楽プレイヤー入力端子なども付いているので、自宅での音作りや練習も可能です。

とはいえ、当然ある程度仕組みを理解しないと好みの音に調整することはできません。また、内蔵されているエフェクターの種類や性能はメーカーやシリーズによって違います。購入の際は下調べを十分におきましょう。



▲様々な種類のエフェクトをコンパクトな筐体に凝縮

「良い音」「好きな音」を奏でるための

ベース の音作りの基本

ベースは、始めたばかりだと音の良し悪しがわかりにくい楽器かもしれません。バンド練習の時に、ただアンプの音量を上げ下げして対応していることも多いのではないのでしょうか。しかし、バンド・サウンドにベースの音色は重要です。合奏の中で聴こえやすい音、良い音…といった、音作りの基本を身につけていきましょう。

ベース本体の音色

ベースには、「パッシブ」と「アクティブ」という、大きく分けて2種類のタイプがあります。それぞれで音作りの方法も異なるので、まず自分の楽器がどちらのタイプなのかを把握することが、ベースの音作りの第一歩とも言えます。

パッシブ・タイプは、いわゆるスタンダードなエレキ・ベースで、どんな楽曲にも馴染み、ピッキング・コントロール次第で様々な表現をすることができます。搭載されているピックアップにはそれぞれ特徴があり、フロント・ピックアップはやや柔らかく丸い音色、リア・ピックアップは少し硬めで粒立ちの良い音色です。つまみ（コントロール・ノブ）は3つ付いていて、ネック側から「フロント・ピックアップのボリューム調節」「リア・ピックアップのボリューム調節」「高音域に影響を与えるトーンの調節」になっています（写真1）。パッシブ・タイプの場合は、この3つのつまみで音色を調節できるので、それぞれの特性を知っておくようにしましょう。しかし、音作りに慣れるまでは、すべてのつまみをフルに上げて使用することをオススメします。特に、トーンが下がっていると音の抜けが悪くなるので、練習の時から気をつけておきましょう。

アクティブ・タイプは、本体にプリアンプが内蔵されています。基本的にはマスター・ボ



写真3 GainはPeakが点かないように。イコライザーは12時の位置からコントロールしよう

リューム、ピックアップ・セレクター、トレブル（高音域）、ミドル（中音域）、ベース（低音域）を調節するEQ（イコライザー）のつまみが付いています（写真2）。「パリッ」とした抜けの良いサウンドが特徴で、EQをコントロールすることによって、本体だけで様々なサウンドを作ることが可能です。使い勝手は良いのですが、作れる音の幅が広いので気に入った音色を見つけるには研究が必要になります。慣れないうちは、つまみを回した時に「カチッ」と止まるセンター・クリックの位置に合わせてフラットな状態にしておきましょう。

アンプでの音作り

ベース・アンプは、種類もつまみのパターンも様々ですが、まずは一般的なGain（ゲイン）、Master（マスター）、Treble（トレブル）、Middle（ミドル）、Bass（ベース）の5つをコントロールして音作りができるようになることを目指しましょう（写真3）。

Gainは、楽器からの音量をコントロールするつまみです。上げすぎると音が歪んだりする場合がありますので注意が必要です。目安として、つまみの側にある「clipランプ」「Peakランプ」が強く弾いた時にだけ点く程度の、目盛りでいうと4から6くらいにしておきましょう。アクティブ・ベースの場合は、出力が強いため常にランプが点いている状態になることがあります。その時は「-15dB（-10dB）」などと書かれたスイッチを押すとコントロールしやすくなります。Treble、Middle、Bassは、音の帯域をコントロールするつまみです。まずはつまみをすべてセンター（時計の12時の位置）にして、それぞれのつまみを操作してみてください。帯域が変化した音の特性に慣れてきたら、「音抜けを良くしたいからトレブルを上げる」「ロックな楽曲だからうねるようなサウンドにするために



写真1 パッシブ・ベース。ノブはネック側からフロント、リア、トーン



写真2 アクティブ・ベース。ノブはネック側からマスター、セレクター、トレブル、ミドル、ベース

ミドルを上げる」「低音が濃くて地響きのようなからベースを削る」…など、ジャンルやその時のコンディションによって調整できるようにしていきましょう。

Masterは、全体の音量を調節するツマミです。練習場によっても異なりますが、目安は音色を調節した後にドラムなどと合わせても、しっかりと聴こえるくらいの音量です。

エフェクターでの音色変化

例えば、ロックな激しい楽曲の場合はバンド全体の音圧もかなりあるので、少し音を硬めに作ると「抜ける」サウンドになります。トレブルを上げたり、ピックで弾くことでも対処できますが、演奏中に変化させたりライブで複数曲演奏する時などは設定を変えるのが大変です。そんな時に便利なのが「エフェクター」です。ベーシストもギタリストのように、エフェクターを使って基本の音色から大きく変化させることが可能です。

ベーシストが最もよく使うエフェクターが「プリアンプ」です（写真4）。様々な種類が市販されていますが、これ1つでEQの調節から音量のブーストまでできてしまいます。最近では音を歪ませる機能が付いている機種もあるので、プリアンプを軸に音作りをしている人も多いよ



写真4 プリアンプ。機種ごとに音の特徴がある



写真6 バンドや観客に「安心感」を与えられる音作りを目指そう

うです。使い方のオススメは、常にONにしておいてプリアンプ込みで音を作るか、激しい楽曲の時などに音量を上げたり歪ませたりすると効果的です。

もう1つ、よく使われているエフェクターが「コンプレッサー」です（写真5）。音の粒立ちを揃えて、艶のあるサウンドにしてくれます。特に、スラップ、ピック弾き、指弾きなど、頻繁に奏法を変える場合にはとても有効で、音量差を整え、同じ音圧で出力できるように整えてくれます。他にも、例えばスラップ奏法の時にだけONにして使うのもオススメです。しかし、難点として、よく聴かないと効果がわかりにくく感じるエフェクターでもあり、強くかけず

ぎてしまうと音が潰れて細くなってしまうことがあるので注意が必要です。

バンドの中で求められるベースの音

ベースの音色で求められるのは「安心感」です。ベースが楽曲を引っ張っていくようなケースもありますが、本来の役割はバンドの中で一番低い帯域の音を鳴らし、アンサンブルを安定させることです。もちろん、低音がむやみに大きいと不快に感じたり音抜けが悪くなったりします。例えば、激しく歪んだギターの高音や、バス・ドラムと帯域がかぶらないように考えながらトーンを調節していくと良いでしょう。また、低音が「パワー」とハウリングを起こしてしまうような場合は、その帯域をEQでカットしたり下げあげると、ハウリングが収まってスッキリします。

一口に「低音」と言っても、他の楽器との兼ね合いや演奏している部屋の環境で微調整が必要です。バンドや観客を安心させられるような音色作りを目指して、低音のコントロールを上手にできるようになりましょう。



写真5 コンプレッサー。かけ過ぎに注意

プラスα

マルチ・エフェクターで音作り

エフェクターの効果を知りたい時にオススメなのが「マルチ・エフェクター」です。プリアンプ、コンプレッサー以外にも、「コーラス」や「ワウ」など何十種類ものエフェクターが1台に収まっているのでとても便利です。また、「アンプ・シミュレーター」も内蔵されているので、ベース・アンプに頼らずにマルチ・エフェクターだけで音作りをすることも可能

です。ライブでは、DI（ダイレクト・ボックス）を使って外音を出すこともあるので、エフェクターだけで音作りを完結させることも一般的な考え方になってきています。

また、リズム・マシンやメトロノーム機能を搭載していたり、外部入力端子やヘッドフォン端子が付いている機種も多いので、自宅での音作りや個人練習にも役立ちます。



▲音作りや個人練習にも重宝するマルチ・エフェクター

「良い音」「好きな音」を奏でるための

ドラム の音作りの基本

電子ドラムを使っている学校もあると思いますが、全国的にはアコースティック・ドラムが主流だと思います。今回はアコースティック・ドラムの音作りについて解説しますが、生音勝負のドラムの音作りには様々な知識が必要です。打楽器として、バンド・アンサンブルの柱となるドラムの音作りを学びましょう。

音作り=チューニング

例外はありますが、主にドラムにとっての「チューニング」とは、他の楽器のようにドレミ…などの音程に合わせるのではなく、楽器本来の音を最大限に発揮させる作業のことです。自動車などのチューン・ナップに近いかもしれませんが。ポイントは、他の楽器との調和を考えながら、アコースティック楽器であることを生かした「鳴り」の調節をすることです。

基本的な音作りは、ドラム・ヘッドを固定しているフープ（リム）に付いている「チューニング・ボルト（テンション・ボルト）」を回して行います。チューニング・ボルトは、各ドラムの打面側と裏面側の両方に6本から10本ずつあり、ヘッドの張り具合を締めたり緩めたりして音を調節します（写真1、2）。初心者の頃は、何をどうして良いのかわからないと思いますが、経験者であってもなかなか難しいものです。アコースティック楽器の楽しさでもあり、難点でもあります。やっていくことでしか解決方法

はないので、まずは触ることから始めて、いろいろと試してみましょう。

ピッチ（音の高低）の調節

ドラムの音作りで取り組みやすいのは「音の高低」です。音程という意味で「ピッチ」とも呼びます。簡単に言うと、ヘッドを強めに張って「タン」とか「トン」といった高音の乾いた音にするか、緩めに張って「ダン」や「ドン」と低く重い音にするかという調節です。好みでも構いませんが、楽曲やバンドのカラーに合わせる事が大切です。例えば、ハードなロックの楽曲では、全体的に低めのどっしりとしたサウンドが似合いそうな気がしますが、ギターやベースの音の帯域が低い場合には、低音域ばかりに音が集中してバンド・サウンド全体のバランスが悪くなってしまいます。結果としてドラムの出すリズムの線が聴こえにくくなり、ロック色が薄くなる可能性があります。逆に、あえてドラムのチューニングを高めにすることが良い効果をもたらす

場合もあります。

バンド・サウンドの中で、特に重要なのがスネア・ドラムのピッチです。打楽器は「アタック音」が大きく鳴るのであまり大きさに考えなくても大丈夫ですが、似た帯域を出す楽器とかぶらないようにチューニングすると「音抜け」が良くなります。スネアは歌やギターなどと同じ「中音域」の楽器です。ボーカリストが低い声で歌うのか高い声で歌うのかなどを気にしてみてください。例えば、ボーカルが割と高めの音域で歌うのであれば、スネアは「カン！」という高いピッチよりも、「タン！」や「ダン！」というような落ち着いたピッチの方が、全体のバランスは良くなるかもしれません。

バス・ドラムも同様に、ベースとの帯域に注意する必要があります。ベーシストと相談しながら「低音域がかぶらない」ピッチでチューニングできれば、そんなに思いっきりペダルを踏まなくてもバス・ドラムが抜けて聴こえてくるようになります。

タム類は、フィル・インを叩いた時にスネアやバス・ドラムとの関係が悪くないようにピッ

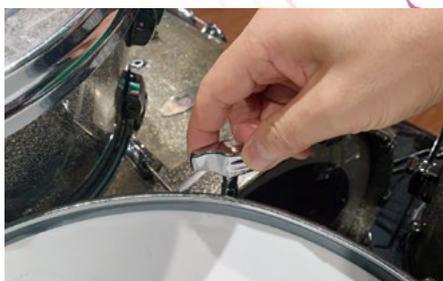


写真1 チューニング・キーを使ってボルトを回す



写真2 バス・ドラムのチューニング・ボルトの例



写真3 ドラムだけではなく、バンド全員で出しているサウンドを考えて音を作ろう



写真4 高低差をつけてチューニングするようにしよう



写真5 スナッピー近くのボルトを回して残響を調節

チを調節しましょう。タム同士のピッチ差に絶対的な正解はありませんが、フィル・インを演奏した時に自然な流れに聴こえるように、基本的にはタムの大きさに準じた高低差をきれいにつけていく方向が一般的です(写真4)。

サステイン(残響)の調節

アコースティック楽器のサウンドに大事なものは、「鳴り」と「残響」です。鳴りは、楽器自体の材質やメンテナンス具合、ヘッドの状態、叩き方などによって変わってくるので、音作りというテーマには入らないかもしれませんが、しかし、叩いた後に残る「サステイン(残響)」を調節することは大切です。チューニング次第では、「トーン!」と歯切れ良くあまり残響がない音から、「トーン」と長く残響が続く音にすることができます。練習場やライブ会場の反響も考慮して調整しましょう。



写真6 ライブの時はサウンド・ホールにマイクを挿す

ドラムは、打面側のヘッドを叩くことによって、シェル(胴)や裏のヘッドが響きます。サステインの調節とは、空気の振動を考え、共振(共鳴)や音の減衰を調節する作業です。ヘッドを緩く張れば振動はゆっくり大きくなり、サステインは長くなります。逆に、強く張ると振動は速く細くなるので、音はすぐに減衰していきます。ピッチが変わることも考慮して、打面と裏面のヘッドがどう共鳴し合うかを考えながら調節していきます。ただし、ドラムやヘッドの種類によっても共振は変わるので注意してください。また、スネア裏側に付いているスナッピーの残響も、この方法である程度調節することができます。ストレイナーのつまみだけではなく、スナッピー近くの4本のチューニング・ボルトも触ってみましょう(写真5)。

難しそうに思えるかもしれませんが、アコースティック楽器であるからこそその「音の鳴る原理」を考えて、いろいろと試行錯誤しながら挑戦してみてください。

ミュート

音量や音の帯域を調節するための「ミュート」も、ドラムの大切な音作りの1つです。例えば、バス・ドラムに毛布などを入れると、サステインが減りアタック感が強調され、アンサンブルも引き締まります。また、バス・ドラムの表側のヘッドにサウンド・ホールを開けておくと、空気が抜けて音がタイトになります(写真6)。中心を避けて開けるとベターです。

また、ライブなどでマイキングした時に発生するハウリングの原因になる「倍音」を調整するには、ガムテープをヘッドの端に貼ったり、ヘッドに市販のリング・ミュートやクリップ・ミュートを装着する方法があります。知っておくいろいろな場面で役に立ちます。

ドラム全体のミュートに有効なのは、絨毯や防音マットをセット全体の下に敷くことです。床への共鳴を防ぐだけでなく、滑り止めや床をキズつけない効果もあります。

プラスα

ロック・ドラムに欠かせない「リム・ショット」

ロック・ドラムのサウンドに欠かせない奏法があります。それは「オープン・リム・ショット」というスネア・ドラムを叩く時のテクニックです。スティックを振り下ろしてチップがヘッドに当たる瞬間に、シャフト部分も同時にスネアのリムに当てます。リズム・パターンを演奏する時にこの奏法をすると、バック・ビートに金属音が混ざったアタック音が出て、

リズムの線がくっきりとします。

クラシックや吹奏楽、ジャズといった音楽では特殊奏法扱いですが、ロック・ドラムでは9割以上がこのショットを行います。マスターするには、正確なスティック・コントロールが要求され、慣れるまではサウンドが安定しなかったりミス・ショットも多くなるかもしれませんが、諦めずに練習してください。



▲アタックのあるスネア・サウンドを目指そう!

「良い音」「好きな音」を奏でるための

キーボード の音作りの基本

自分の好きな音を見つける

キーボードには膨大な数の音色が入っています。ピアノ、エレクトリックピアノ系、オルガン、マレット系、管楽器系、ストリングス系、ボイス系（人間のコーラス）、いわゆるシンセ系、SE・FX系…。もちろん、ドラムやギター、ベースの音色までも出すことができます。そして、それぞれのカテゴリーにはさらに繊細な違いの音色が十分すぎるくらいメモリされているので、演奏に必要な音色はほぼ揃っていると良いでしょう。

例えば、ピアノならクラシックのコンサート・ホールで聴くような音から、レコーディング・スタジオで使う粒立ちのはっきりした音色まであります。管楽器系には木管と金管の音色がありますが、ソロかセクション（複数人）かの違いに加え、金管セクションであれば、サクソフォンが入っているかないかというバリエーションもあります。ボイス系も、女声コーラス、子供たちの声、混声合唱風、ゴスペル系…と様々です。

これらの音色を時間をかけて1つずつ聴いて、

その特徴や1つ前の音色との違いを認識する耳を持つことが、音色を早く選べるようになる第一歩です。弾いていて気持ち良い音色をひいきして使い続けていると、自分のカラーになるかもしれません。どちらにしても、普段からいろいろ触ってみることが大切です。

他のパートと共存できる音に整える

キーボードの音色作りは、楽器にあらかじめ「プリセット」されている音色の中から、楽曲に合ったものを選ぶことから始まります。もちろん、プリセットの音色をそのまま使用しても構いませんが、その音色が自分たちのバンド・サウンドのアンサンブルにフィットするとは限りません。

それぞれの楽器には、受け持つ「音の周波数帯域」があり、楽器同士がぶつからない帯域で鳴っているとバンド全体の音がまとまって聴こえるようになります。つまり、音色を決める段階で他のパートとの共存を意識しておくことが

音楽に対しての考え方が柔軟であればあるほど、キーボードはとてつもない武器になります。部活動で使っている「シンセサイザー」と呼ばれているキーボードは、様々な音色を出せる魔法のような楽器です。少し難しそうな専門用語も多いですが、キーボードのスペックを最大限に利用できることを目指しましょう。

大事だということです。バンドの中で演奏していて音が聴こえにくいという場合、音量の調節だけではなく、楽器同士が適切な帯域で鳴っているかも確認しましょう。具体的には、同じ「上モノ」と呼ばれるギター・パートとの帯域的なバランスに注目します。ギターは主に中低域で鳴っているのだから、その帯域にかぶらないように「EQ（イコライザー）」で整えます。EQは、ミキサーやキーボード・アンプ、楽器の中に入っている音色の「エディット」項目にも用意されています（写真2）。例えば、低域を少しカットして、高域を耳障りにならない程度に上げると、音量を変えなくても音が抜けて聴こえてくるようになります。

1歩進めて、EQを積極的に活用して、演奏する音楽のジャンルに合った音作りをしていくことも可能です。高域をカットして低域を膨らませると、アナログ感のあるローファイな音になります。逆に、高域を目立たせるセッティングにすれば、ダンス・ミュージックなどに合う、派手なサウンドを作ることもできます。



写真1 ツマミを回してカテゴリーを選ぶタイプの楽器。音色を探すのにとても便利



写真2 キーボード・アンプのEQ（上）とマスター・コントロール（下）。ツマミを触りながら音の聴こえ方を確認しよう

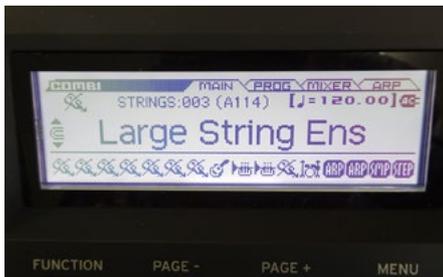


写真3 画面下のアイコンは、同時に鳴らせる音色を示す



写真4 合奏の中で混じり合う音色を使おう



写真5 「魔法の箱」であるキーボードという楽器の可能性を十分に生かそう

音色を重ねる、エフェクターを使う

同時に複数の音色を鳴らし、音色を重ねることによって、豊かで深いサウンドが作れます。キーボードには複数の音色を重ねて演奏できるモードが用意されていて、メーカーによって「コンビネーション」「マルチ」「シーン」などの名前が付けられています（写真3）。音色の重ね方にセオリーはありませんが、やはりまずどのようなサウンドに仕上げたいのかというしっかりとしたイメージを持ち、それを元に音色を探しましょう。

カテゴリーの違うものから選ぶ方が効果的です。例えば、アタックのはっきりした音色とフワツとした音色を重ねれば、耳に聴こえてくるまでに時間差ができ、双方が生きてきます。あるいは、隙間を埋めるためのアタックのない持続系音色である「パッド (Pad)」系から違うカラーのものを複数選んで、新しいパッド音色を

作ることもできます。また、弦楽器セクションなどで同じ音色を重ねて使う場合でも、1オクターブ変えて同時に鳴らせば指一本で重厚なオクターブ・サウンドを再現することができます。どのサウンドを主役にするのかを決め、それぞれの音量バランスを調整しましょう。

とはいえ、キーボードにプリセットされている音色には、それぞれに合わせた「内蔵エフェクター」が既にかかっているため、とてもきらびやかで派手なサウンドに聴こえます。音色に違和感があれば、エフェクターを少しいじるだけで希望の音に近づくこともよくあります。内蔵エフェクターには、「リバーブ」「ディレイ」、音の広がりを出す「空間系」や、「コーラス」「フランジャー」「フェイザー」、音のゆらぎを作る「揺らし系」、ギタリストには必須の「歪み系」、音の粒を整えたり音圧を調整したりする「ダイナミクス系」などがあります。

また、近年では「アンプ・シミュレーター」が搭載されている機種も多いので、さらに音作

りの幅は広がっています。

バンドで求められる音色

キーボード・パートは、その音色の守備範囲の広さから、どんな音楽にも対応できるポテンシャルがあります。取り組んでいる楽曲や音楽への想像力を豊かにして、バンド・サウンドの足りない帯域にどんな音色を鳴らせばサウンドに広がりをもたらすことができるかを考えながら、音作りをしていきましょう（写真4）。

「こんな音は他のバンドでは使わないよな」という音色を採用すれば、それがバンドや楽曲にインパクトを与える要素になるかもしれません。キーボードという多機能楽器をせっかく持っても、ピアノの音しか使っていないというのでは宝の持ちぐされです。他のバンドとの差別化や、個性をサウンドで表現するのもキーボード・パートの役割だと言えます。

プラス α

アウト・プットはいつも「ステレオ」で

直接的な「音作り」とは違う話ですが、キーボードという楽器は、本来ステレオで出力すべき楽器であることを忘れずに認識しておいて欲しいと思います。様々なサウンドを1台のキーボードだけで再現することが可能になった魔法の箱も、そのポテンシャルを最大限に生かしてこそ効果があります。せっかく作った音色も、ヘッドフォンで聴いている時はステレオなので、

モノラルで出力したら意味がありません。

背面のアウト・プットには、ほとんどの場合L（左）とR（右）があるはずですが、普通の練習の時から必ずシールド・ケーブルを2本挿して、ミキサーにつなげましょう。また、ライブではステレオで取ってもらえるように、音響スタッフに要求しましょう。サウンドの広がりが大きく変わりますよ。



▲背面のアウト・プット。LとR両方に挿そう

パート別★ネット実技レッスン

おうち時間で

基礎練習

4

新入部員の初心者にとっても、先輩たち経験者にとっても、歌や楽器の上達に必要なのは、やはり「基礎練習」です。少し地味に見える基礎練習はとっつきにくいものですが、基礎がしっかりしていると歌うことや楽器演奏がよりスムーズになって、できることの幅も広がっていきます。できることの幅が広がれば、歌ったり演奏できる楽曲も増え、バンドで合わせた時のもっと楽しくなります。「おうち時間」が増えている昨今、勉強はもちろんですが、歌や楽器の練習も頑張ってください。このコーナーでは、各パートにおいて効果的な基礎練習メソッドを毎号紹介していきます。初心者には少し難しいこともあるかもしれませんが、先輩に聞きながら、できる範囲で取り組んでみてください。



DIGIRECO.JR

1冊
まるごと

電子版を公開中！

ダウンロード
はこちら！



パスワード
0716

第4回 ボーカルの表情のつけ方・1

ロック、ポップス、R&B…と、どのジャンルにも求められるボーカル・テクニックと言えるのが、歌に対する「表情のつけ方」です。中でも、代表的な「ビブラート」や「ロング・トーン」、そして「しゃくり」「フォール」といったテクニックを身につけていくことで、様々なジャンルを歌う時に役立ちます。(文・伊丹谷良介)

STEP1 ビブラート、ロング・トーン

STEP2 しゃくり、フォール

おうち時間で
基礎練習
ボーカル



おうち時間で
基礎練習
ギター



第4回 歌心溢れるバックングを目指そう

楽曲の魅力をアップさせるためには、リズムカルかつメロディーに寄り添うバックングが不可欠です。ギターはソロなどの派手なプレイが目向きがちですが、すべてバックングというものがあるからこそ成り立っています。曲の流れやリズムに自由に対応できるバックングを目指してスキル・アップしましょう。(文・岩尾 徹)

STEP1 スムーズにカッティングする方法

STEP2 カッティングを自由自在に演奏する

おうち時間で
基礎練習
ベース



第4回 「スラップ奏法」の上達メソッド

ベーシストなら誰もが一度は憧れる「スラップ奏法」。昔は特殊技能のような扱いでしたが、今では指弾きやピック弾きと並ぶベースの3大奏法の1つとなり、ロックやポップス、歌モノにいたるまで、様々なジャンルに取り入れられています。表現の幅を広げるためにも、ぜひこの機会にマスターしましょう。(文・山田潤一)

STEP1 正しいフォームとオクターブ奏法

STEP2 左手とのコンビネーション奏法

おうち時間で
基礎練習
ドラム



第4回 16分音符とシェイク・パターン

ロックのリズムには大きく分けて「8ビート」と「16ビート」があります。しかし、最近の楽曲は「8ビートっぽい16ビート」や「16ビートっぽい8ビート」など、両方が混ざっているリズムも少なくありません。16ビートはもちろん、カッコ良い8ビートを叩くためにも、16分音符の練習は必須です。(文・辻 伸介)

STEP1 16分音符

STEP2 「シェイク」パターンを叩きこなす

第4回 コード・バックングのスムーズな移動

コード・バックングをする場合、楽譜に書かれているコードをいかにスムーズに連結して演奏できるかを工夫することで、楽曲をマスターする時間が短縮されます。そのキー(調)のスケールの音のみで構成されたコードである「ダイアトニック・コード」を用いて考えてみましょう。(文・竹中敬一)

STEP1 コードの「転回形」を上手に使う

STEP2 「音のライン」を意識した弾き方

おうち時間で
基礎練習
キーボード



ロック解体新書

ロックという音楽が生まれてから既に70年近くの月日が流れ、今でも多くの人から愛され続けている名曲がたくさんあります。皆さんが普段聴いている楽曲の中にも、何十年後かにはスタンダードとなって、その時代の人たちに愛されていく楽曲があるかもしれません。名曲と言われる楽曲は歌詞が良い、メロディーが良い、アレンジが良い、演奏がうまいといったことだけではなく、それらを表現するプレイヤーの音楽的センスによってしっかりと絡み合っています。楽曲を「解体」してみれば、そこには必ず名曲が「名曲」となる秘密が隠されているはずです。ぜひ例題曲のコピーをする時やオリジナル曲を作る時の参考にしてください。





文・佐藤智恵

藤井 風 何なん w

～リズムと音を自由自在に操った歌～



2020年、YouTubeが世界の気鋭アーティストを紹介する「Artist on the Rise」にも選ばれたシンガー・ソング・ライター藤井風は、12歳からJ-POP、洋楽、ジャズ、クラシックといった様々なジャンルを耳コピして、YouTubeに演奏動画を公開してきた。楽曲によって岡山弁と標準語を使い分けているのが特徴的だが、同年リリースのデビュー曲「何なん w」は、岡山弁を交えることで歌詞の内容を重たくしすぎない、聴く人に受け入れやすい表現になっている。

「間」を生かしたフレージング

冒頭の「♪ Na Na～」から、キレ良く始まるこの楽曲のメロディーは、タッカタッカ～と跳ねた「シャッフル」のリズムと、裏拍にアクセントが置かれる「シンコペーション」で構成されたフレーズが多い。この楽曲での藤井風の歌声は、母音を若干ルーズに、そして声の響きを低域にも広げているため、質感マイルドな印象だ。そこに、シャッフルとシンコペーションをわかりやすくしっかりと表すことで、メロディーに弾みが出て、ルーズさの中にタイトな部分を感じることができる。柔らかさと軽快さがバランス良く融合されているのだ。

シンコペーションを上手に取り入れるには、リズムを意識して表拍や休符も「歌う」感覚が大事となる。藤井風はこの楽曲で言葉と言葉の間に小さい「っ」や「ん」を入れてそれらを表現している。例えば、サ



譜例1 シンコペーションを表拍や休符も存在させることで、よりリズムカルに

ビ前の「♪肥溜めへとダイブ～」の部分も、「こえだ(ん)め(っ)へ(っ)と(っ)ダイブ」となり、間を生かすことでよりリズムカルになっている(譜例1)。他にも、1コーラス目Bメロの「♪そっちに行っはダメと～」のフレーズの前に、「ゴースト・ノート」という聴こえないくらい小さな声を入れることで、細かいリズムを感じている。

シャッフルの弾んだ感じを理解するためには、ミュージック・ビデオの後半部で行われているスキップを試してみるのも1つの方法だ。

音遊びの面白さ

Dメロはさらに彼らしい音楽的な遊び心が多い。例えば、2回出てくる「♪やばめ やばめ～」の音程が1回目と2回目では違っている。1回目の音は「ミ」で、コード・トーンの中の音なため安定しているが、2回目の音は「ファ」で、一見外れてるように聴こえる。この「ファ」はコード・トーンになく、和音の響きに緊張感や不安感を与える。そのため、「やばめ」という歌詞がより印象強いものになっているのだ。

最後の「♪バラベレン ベベレベレン～」は、「スカット唱法」という即興だ。決まった言葉やメロディーではなく、その時に感じたままを自由に歌っている。しかし、決して適当に歌っているのではなく、音程やリズムの正確さを必要とする高い技術でもあるのだ。リズムと音を自由自在に操った歌だからこそ醍醐味だと言える。



▲スカットは、まず完コピを目指して真似てみよう

参考にするなら、この曲もオススメ!



Jamiroquai Virtual Insanity

イギリス出身のアーティスト、ジャミロクワイが1996年にリリースした代表作。札幌の地下街を歩いている時に歌詞を思いついたことが話題に。イントロからついつい体でリズムをとりたくなるグルーブとキャッチーなメロディーが心地良い。



aiko 花火

1999年にリリースされた、シンガー・ソング・ライター、アイコの3rdシングル。言葉数の多い歌詞を不自然に区切ることなく、シャッフルのリズムに乗せて仕上げられた明るい失恋ソング。独特なメロディー・ラインもインパクト大。



文・岩尾 徹

ヤバイ T シャツ屋さん ヤバみ

～「エモい」だけじゃ片付けられないプレイ～



2016年にメジャー・デビューを果たした3人組ロック・バンド、ヤバイTシャツ屋さん。通称「ヤバT」で親しまれる彼らのメジャー1stシングルであり、自主制作盤を含めると4枚目のEPとなる『どうぶつえんツアー』のリーダー曲だ。ストレートでアッパーなこの楽曲をよりドライブさせているのは、メロコアなどの影響を受けた「エモ」で「ラフ」なプレイの中に見え隠れする、効果的なフレーズを奏でるギターの存在に他ならない。

シンプルなメロディーをコントロール・・・・・・・・

イントロは、往年のハード・ロックを彷彿とさせるようなリフの応酬で、いきなり全開モードで楽曲が始まる。しかし、Aメロに入るとリズムのスピード感を残しつつ、やや落ち着いたグルーブになる。これは、ドラムとベースがイントロの流れを汲んで演奏しているのに対して、ギターが「ジャラーン」とコードを流すだけという、シンプルな形に移行したことに起因する。その結果、ラップ調でやや低いトーンの淡々としたメロディーとマッチして、これから先の展開を予感させるようなAメロに仕上がっている。

一度リフに戻った後に再度登場する2度目のAメロは、ベーシスト、しばたありほほによる女性ボーカルに変わって、楽曲のイメージも変化する。ギターもこれに反応するかのごとく、バックギング・パターンはコードを流すだけというアプローチにアルペジオを加えている。それによって、1度目よりも華やいた雰囲気が出ている。

1コーラス目のサビ後に出てくるAメロは、よりドライブ感のあるものになっている。その理由は、それまでのAメロがワン・コード主体だった上にギターのアプローチもシンプルで、やや「静」のイメージが強かったのに対して、コードを動かし、ギター・フレーズにもアクセ

ントをつけて弾くことで、「動」のイメージが強調されたからだ。

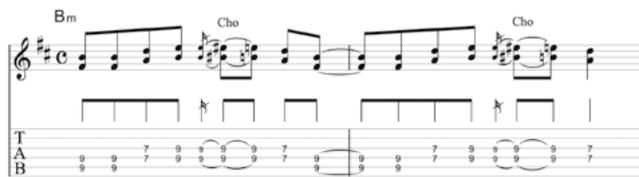
ただ全力疾走だけではないバックギング・・・・・・・・

サビは、とにかく全力な盛り上がりを見せているのだが、バックギング・パターンによって表情を変化させている。1コーラス目のギターは「ドライブ感命」といった感じで、ドラム、ベースとの一体感を重視して、ひたすらパワー・コードでギターをかき鳴らしている。しかし、2コーラス目以降のサビは、ややハイ・ポジションでカッティングするようなリフを弾き、メロディー・ラインに呼应するようにトップ・ノート（最も高い音）を動かしてバックギングしている。このアプローチによって、1コーラス目のサビよりもポップなテイストが加味されている。単に全力だけでは良い楽曲やアンサンブルにはならないのだ。

また、メロディーの合間に出てくる「ダブル・チョーキング」を使ったフィル・インは、サビのアクセントとなり、よりロックな重厚感を生みだし、サウンドにも厚みを出すことになっている（譜例1）。細かい部分のスパイスも忘れてはいけない。

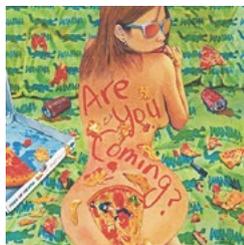


▲一般的には2弦、3弦を使って行うことが多いフレーズ



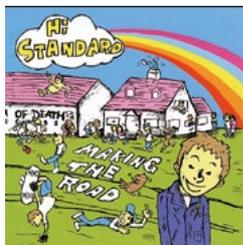
譜例1 サビのダブル・チョーキングは音程よりニュアンス重視でいこう

参考にするなら、この曲もオススメ！



WANIMA TRACE

2010年代にメロコア・ブームを再燃させた立役者で、メロコアにレゲエやスカの要素を取り入れたキャッチーな楽曲や高い演奏力、コーラス・ワークが魅力的なワニマの1stシングル。エモでラフなギターがクール。2015年リリース。



Hi-STANDARD Stay Gold

現在のメロコア・バンドへ多大な影響を与えた日本のバンド、ハイスタの1999年にリリースされた4thアルバム『MAKING THE ROAD』に収録。メロコアの教科書的な楽曲。アルバムは国内外合わせて100万枚以上の売り上げを記録した。



文・山田潤一

ヨルシカ ただ君に晴れ

～寄り添いながら時に歌うベース・フレーズ～



2人組ロック・バンド、ヨルシカが2018年にリリースした楽曲である「ただ君に晴れ」は、公開されたミュージック・ビデオが1億3,000万回再生を突破するなど、バンドを代表する作品だ。ギター、ベース、ドラムを同じようなリズムにすることで心地良いグルーヴを作り出しているのが特徴的な楽曲だが、ベース・ラインは基本的にギターのリズムと合わせたフレーズで構成しつつ、セクションによってはメロディーのようなフレーズも弾いている。守るところは徹底的に守り、攻めるところは絶妙なアプローチで世界観を崩さない程度に主張をする…。楽曲のアレンジやアンサンブルにとってのベース・パートの役割がよく出ているプレイだ。

巧みな「音価コントロール」

イントロやAメロでは、2小節パターンのギター・リフに合わせて、ベースも同じユニゾン・フレーズを弾いている。ここでのポイントは、ベースがギターのニュアンスまでも意識していることだ。例えば、1小節目の1、2拍目のB \flat は、スタッカートと4分音符を弾き分けているのだが、この音価が絶妙で、ギターとベースの音の長さや休符のタイミングがまったく同じになっているのだ（譜例1）。同様に、2小節目の8分休符も、ギターと音の切り際が合うように、巧みに音価がコントロールされている。

バンドでリズムを合わせるのは当たり前のことではあるが、グルーヴ



譜例1 音価を意識して音の切り側までこだわることで一体感が生まれる

は人それぞれで多少の違いがある。しかし、この楽曲ではベースがギターのニュアンスに限りなく寄せることで、バンド・サウンドの一体感が強まり、心地良いグルーヴを作り出す要因となっている。バンドでは「誰かの演奏を意識して弾く」ことが非常に大事なことになるので、合奏する時は自分の演奏だけではなく、周りの音もしっかりと聴いて演奏しよう。

ルートに囚われないフレーズ

前半はリフに合わせて弾いていたベースだが、2コーラス目では打って変わってメロディアスなフレーズを弾いている。Aメロのアタマで一度抜けたベースは、4小節目から8小節目にかけてボーカルの合いの手のような、カウンター・メロディーのような演奏をしている。いきなりリフに戻らずに、ハイ・ポジションでのフレーズから入っていくことで、リフに戻るまでの流れがスムーズになっている。

また、通常ベースはコードのルート弾いて和音を安定させることが多いのだが、このセクションでは少し違う発想でフレーズを作っている。この楽曲のキー（調）はFメジャーだが、ここでは平行調であるDマイナーのペンタトニック・スケールを軸にして弾いている。こうすることで、「ルートに囚われないながらもキーを意識したフレーズ」に変わる。さらに言えば、ベースがメロディアスになることで浮遊感が生まれ、楽曲全体のアレンジがより複雑に聴こえる効果もある。



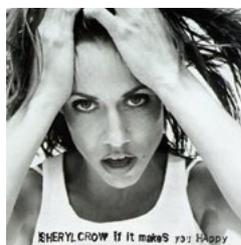
▲他の楽器のグルーヴまで意識しながら弾こう

参考にするなら、この曲もオススメ！



SCANDAL Stamp!

日本の4人組ガールズ・バンド、スカンダルの2015年にリリースされた21stシングル。全編通して同じリフ・パターンが多く使われている。ギターとユニゾンするベース・ラインもきっちりと揃った音価に一体感のあるグルーヴが生まれている。



Sheryl Crow If It Makes You Happy

アメリカを代表するシンガー・ソング・ライター、シェリル・クロウの1996年のヒット曲。カントリー風なサウンドとグルーヴが心地良いが、ベースのボトムを支えつつ2コーラス目サビ後で出てくるEマイナー・ペンタがアメリカン！



文・辻 伸介

あいみょん マリーゴールド ～素材の味を生かすドラミング～



シンガー・ソング・ライター、あいみょんの2018年にリリースされた5thシングル「マリーゴールド」は、今やポップスの女王として君臨する彼女の代表曲と言っても良いだろう。2016年のメジャー・デビュー前後には少しアクの強い歌詞も多かったが、この楽曲は歌詞、メロディー、アレンジともに「ザ・王道」のど真ん中をいく極上のポップ・ソングだ。ドラムをはじめとした楽器陣のアプローチもごくストレートで、ある意味「教科書的」とも言える正統派だが、このドラミングをマスターすれば、他の楽曲へもかなり多くの部分が応用できるだろう。

アコースティック・ギターのストロークを生かす・・・

ドラムのフレーズは、一聴するととてもシンプルに聴こえ、初心者でも取り組みやすいように思えるが、楽曲の雰囲気とグルーブを保ち、ボーカルをより良く聴かせるドラミングをするのは意外と難しい。

この楽曲の骨組みは、ボーカルとアコースティック・ギター（以下、アコギ）でできている。彼女の他の楽曲も歌とアコギの弾き語りで成立することが多いが、それはアコギを使って楽曲を作っているからだろう。歌詞、メロディー、歌、そしてアコギが出すコードの和音とリズムで、もうこの楽曲は完成しているのだ。そして、その完成した骨組みの良さを壊すことなく装飾して、よりメッセージが伝わるようにすべての楽器がアレンジされている。まるで、素材の味を十二分に生かした高級な一品料理のようだ。

聴こえてくるドラムのパターンは、音数の少ないシンプルな8ビートに思えるが、実はアコギのストロークに合わせた細かい「ゴースト・ノート」が入っている（譜例1）。アコギのパーカッシブな「シェイク・パターン」にユニゾンして、16ビートな「せわしなさ」が出ている。夏の心地良い風を感じながら自転車を漕いでいる雰囲気だ。演奏する時

は、アコギを弾いているつもりでドラムを叩くと良いだろう。

大サビではフロア・タムとハイ・タムを使ったパターンになったり、エンディングではシェイクのリズムが強調されて派手になっている。セクションの表情に合わせて変化がつけられているのだが、グルーブはルーティンのパターンと変わっていない。



譜例1 カッコ書きのスネアが「ゴースト・ノート」。強弱の加減が難しい

ナチュラルなドラム・サウンド・・・・・・・・・・

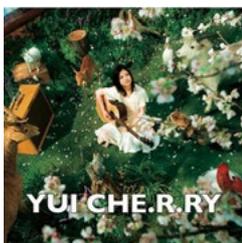
専門的に細かく見れば多々あるのだが、この楽曲は本当に飾り気のないストレートなアレンジに聴こえる。いや、聴こえるように仕上がっている。ドラムも、パターンやフレーズだけではなく、生音をあまり加工しないアコースティック・ドラムの気持ち良いサウンドが生かされている。

演奏する時には、すべてのドラムのチューニングを少し高めにして、張りのあるサウンドを目指したい。また、機材を選ぶのであれば、メイプル系のウッド・スネアを使用すると、明るいカラッとした夏の雰囲気が出るだろう。サウンドも楽曲の一部なのだ。



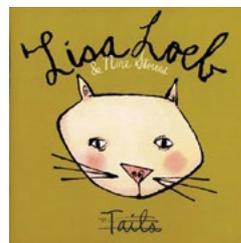
▲曲調を考えた機材選びやチューニングも大事

参考にするなら、この曲もオススメ！



YUI CHE.R.RY

シンガー・ソング・ライターのYUI（ユイ）の2007年にリリースされた8枚目のシングル。携帯電話会社のコマーシャルに起用された甘酸っぱく可愛い楽曲。アコギのストロークに寄り添ったポップで16ビート気味なドラミングが心地良い。



Lisa Loeb & Nine Stories Do You Sleep?

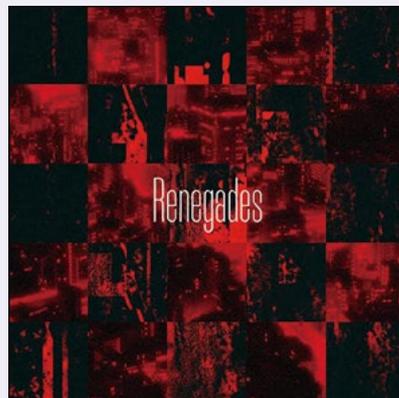
1990年代、彗星の如く現れたアメリカのシンガー・ソング・ライター、リサ・ローブのデビュー・アルバム『Tails』に収録。アコギの清々しさにロック・テイストが加わったサウンドが絶妙。グルーヴィーなドラムもゴキゲン。1995年リリース。



文・鳥居克成

ONE OK ROCK Renegades

～バンドにおけるキーボーディストの役割～

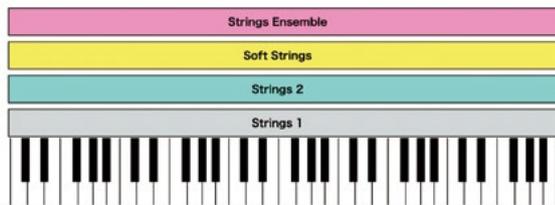


「Renegades」は、日本国内のみならず世界で活躍するバンド、ONE OK ROCK がイギリスのシンガー・ソング・ライター、エド・シーランと共作した楽曲だ。2021年公開の映画「るろうに剣心 最終章 The Final」のために書き下ろされたものだが、シリーズ映画のファイナルにふさわしい壮大なアレンジになっている。曲調は、Renegades (反逆者) のタイトル通り、ワンオクラしい激しさが感情を揺さぶる。「書き下ろし」という名にふさわしい楽曲だと伺える。

ストリングスをシンセサイザーで効果的に再現・・・

この楽曲におけるキーボード・パートの大きな役割が、壮大なストリングスの演奏だ。楽曲内ではバイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスと分かれているが、バンドで演奏する際は大合唱と共に演奏されているフレーズや、Bメロでの単音フレーズを再現して、サビはコードに沿った全音符でも十分雰囲気は出るだろう。

この楽曲のように、メインのフレーズを弾くことが多い時には、いくつかのストリングスの音色をレイヤー（重ねる）して弾くと、よりサウンドに厚みが増す。各メーカーで呼び方は変わるが、「マルチ・ティンバー・モード」などと呼ばれている何種類もの音色を重ねて演奏できるモードだ。この楽曲の場合は、すべてのストリングスを同じ音程ではな



▲シンセサイザーで複数の音色を同時に鳴らすイメージの例

く、1音色くらいは1オクターブ上に設定してみるのも良いだろう。

鍵盤楽器以外の音色を聴いて再現・・・・・・・・・・

キーボーディストは、バンド内でピアノやオルガンといった、いわゆる「鍵盤楽器パート」としての役割を担うが、この楽曲ではそういった楽器は使われていない。バンドとして楽曲を演奏する上で、キーボーディストはギター、ベース、ドラム以外の様々な音色の楽器を再現し、アンサンブルを成立させないといけない。

まず、この楽曲で注目したいのは、2コーラス目のAメロにさりげなく鳴っている笛のような音色だ（譜例1）。この楽曲は、全体を通して壮大な世界観だが、どこか不思議なところがある。実は、それがこの笛の役割で、この感じが「ケルト・ミュージック」に通ずるところがあるのだ。ケルト・ミュージックとは、アイルランド、スコットランドを中心としたヨーロッパ大陸やカナダなどにも広がっている伝統音楽だ。イギリス出身のエド・シーランとの共作という面もあり、この辺りは彼のアイデアが盛り込まれているのだろう。

イメージとしてわかりやすい例としては、映画「タイタニック」や「ロード・オブ・ザ・リング」の中で、落ち着いたシーンに頻りに流れる笛の音だ。これはフルートでも良いのだが、シンセサイザーのSine波か、倍音の少ない波形であるTriangle波を使うと良いだろう。これらの波形なら、フィルターなどを調節しなくても比較的簡単に笛の音を作ることができる。



譜例1 2コーラス目に出てくるケルト笛のフレーズ

参考にするなら、この曲もオススメ！



菅田将暉 虹

映画「STAND BY ME ドラえもん 2」の主題歌として2020年にリリースされたラブ・ソング。サビで「一生～」と繰り返される歌詞の裏で流れているストリングスのフレーズが印象的で温かさに満ち溢れている。作詞、作曲は石崎ひゅーい。



Kate Bush The Sensual World

イギリスのシンガー・ソング・ライター、ケイト・ブッシュの民族色が強い6thアルバムのタイトル曲。特にこの楽曲は不思議な世界を醸し出していて、間奏でバイオリンとユニゾンしている笛がケルトの世界観を演出している。1989年リリース。

デジレコ編集部があなたの高校に参上!

DiGiRECO BAND CLINIC

デジレコ・バンド・クリニックはデジレコ・ジュニアや顧問通信の取材として、高等学校の軽音楽部をよく知る講師がアンサンブルのアドバイスをしたり、音響や電気の初歩的な知識やサウンドチェックの仕方、全体練習の紹介、軽音楽部員としての心得など、実施校の要望に応じて講座のメニューを組み合わせる自由度の高いクリニックです。

効率的な練習の方法から、楽器／機材の基礎知識、バンド演奏のアドバイスまで…。軽音楽部にまつわることなら、なんなりとご相談ください。軽音楽部のコンシェルジュとして皆さんのお役に立てると思います。ご相談は顧問の先生を通して行ってください。





第104回目のデジレコ・バンド・クリニックの実施校は東京都稲城市にある駒澤学園女子中学・高等学校です。1927年に創立された中高一貫校で、曹洞宗の教えに基づく建学の精神「正念・行学一如」が教育理念に掲げられています。部活動も盛んで、軽音楽部は文化祭での発表をはじめ、各種大会にも参加するなど、積極的な活動が行われています。

当協会の理事長がクリニックの趣旨や半日の流れを説明し、同校の軽音楽部からも歓迎のメッセージをいただくと、座学へと移行。当日はバンド演奏は行わず、座学みの短縮バージョンで開催しました。

まず、プロジェクターを使用しながら「部活動としての軽音楽部を考える」というテーマで講義を実施。「軽音楽部の評判」「軽音楽部の定義」「部活動としての軽音楽部のあり方」という3つのテーマに分けて解説しました。具体的には「部活動は学校教育の一環であり、普段の授業では学べないことを補完する『課外授業』という位置づけである」「運動部や他の文化部と同じように、活動を通してコミュニケーションとチームワークを育むことができるのはもちろん、特に軽音楽部はオリジナル曲やコピー曲を演奏することで、クリエイティブ力を養うことができる」といった部活動の基本や軽音楽部の特長を紹介。

「バンド活動や楽器の演奏を通して、社会が求める人材育成を行えるのが、軽音楽部の素晴らしいところの1つです」と述べました。

休憩時間を挟んで、副理事長による「アンサンブルが良くなる練習方法」の講義へと移行。いつも何気なく取り組んでいる練習を「個人練習」「バンド練習」「ライブ練習」という3つに仕分けすることで練習の目的が明確になり、効率的に上達できることを解説しました。また、練習前に合わせておきたいこととして、「練習の内容」「楽曲の構成」「キー、コード、テンポ」「チューニング」を挙げ、これらを練習中に行ってしまうと時間の無駄につながり、バンド練習の本来の目的から外れてしまうこと。あくまでも、バンド練習の時間中はリズムやグルーブ、ユニゾンやキメ、シンコペーション、ダイナミクスや音量など、「バンドでない」と確認できないことに注力すべきです」と提案しました。

座学の3つ目は「電気と音響の基礎知識」についてです。マイクロフォンから入力された電気信号がミキサーを通り、パワー・アンプを経由して、スピーカーから出力される仕組みをはじめ、マイクやダイアフラムの構造、マイクの指向性やハウリングが起こる要因などを解説。エレキ・ギターは弦の振動をコイルがキャッチし、それが信号となり、シールド・ケーブルを伝って、アンプに送られることも紹介しました。さらに、オーバードライブやディストーションなどの歪み系からコーラスや



▲部活動としての軽音楽部のあり方や活動内容などを提案



▲バンドでのアンサンブルに必須な要素を解説しました

ディレイなどの空間系、フランジャーやワウなどの揺れモノまで、様々なタイプのエフェクトを解説。周波数の帯域を理解することで、バンドのアンサンブルが聴こえやすくなったり、聴こえにくくなることもあり、「いかに楽器同士の帯域が被らないようにするか?」が重要で、例えば、2本のギターがまったく同じ音を出すとサウンドが痩せて聴こえてしまい、迫力のないものになってしまうため、「私はジャキジャキとしたロック調の音にするね」「私は丸みのある温かいサウンドを担当するね」など、受け持つサウンドをディスカッションするのが大切であることを述べました。

最後は「全員でのリズムトレーニング」を紹介。メトロノームのアプリを使用し、1拍目と3拍目にアクセントを入れたり、スネアドラムの位置にあたる2拍目と4拍目に注目してみるなど、リズムの奥深さやノリが変わることを体感しました。また、2人1組のペアになり、休符を交えたエクササイズにも挑戦。4分音符を軸にしながら、休符を意識する練習方法を学びました。講義では「バンドで演奏する際は全員でリズムを取るようし、特にスネアドラムを叩くところ…2拍目と4拍目でノれるようにすると、アンサンブルにグルーブ感が生まれ、サウンドにまとまりが出てくるので、ぜひ意識しましょう」とアドバイスをし、部員たちは真剣な眼差しでメモを取り、講義に耳を傾けました。

iPhoneでできる 高音質／高解像度の映像撮影



演奏上達の秘訣は、自分たちの演奏を客観的に見て知ることです。そのためにはビデオで撮ってみるのが一番でしょう。また昨今では都道府県大会などの予選審査として、演奏動画が求められるケースも増えてきています。そこで今回は、iPhoneを使い、できるだけ簡単に、かつ良い音で演奏動画を撮影する方法を紹介します。

協力：加藤学園高等学校 フォークソング部

演奏は映像に残そう

日常のちょっとした風景や面白い現象を記録するために、iPhoneのカメラ機能を使っている人は多いでしょう。軽音楽部の活動では、ライブの風景を動画として残しているケースも多いと思いますが、普段のバンド練習風景などを「撮影」している学校は、まだ少ないのではないのでしょうか。

冒頭でも紹介した通り、楽器の演奏技術を磨く上で自分の演奏を客観的に聴くことはとても大切です。というのも、演奏中は自分が演奏するのに夢中だったり、大きな音を鳴らすこと自体に気持ち良くなってしまい、自分がどんな演奏をしているのか、そしてバンド全体がどのようなアンサンブルを奏でているのかを冷静に見るのは、意外と難しいもの。つつい「弾けているつもり」になってしまいがちです。

それを防ぐ一番簡単な方法は、演奏風景を動画として撮って見ることです。音声だけでも良いのですが、きれいな画質で撮影ができるiPhoneで映像で撮ってみましょう。音だけではなく、弾いているフォームや姿勢も確認できるので、プレイ

中の自分が観客からどんなふうに見えるのかが客観的に見ることができず。また、日常的に撮影を繰り返していくことで、成長の記録を残すことができます。「先月よりもうまくなった！」ということが自分で実感できれば、練習のやりがいにもつながります。

都道府県大会に挑戦しよう

最近では、都道府県大会で音源や演奏動画審査が行われることも増えてきているので、普段から動画を撮ることに慣れておくことで余裕を持って取り組むことができます。

この時に大切なのは、動画のクオリティーよりも演奏や大会に向き合う姿勢です。レコーディングや動画撮影というと、高価な機材や専門知識がないと良いものは作れない…そんなイメージを持ってしまいがちですが、決してそんなことはありません。予算がなくても、手の届く機材とちょっとしたアイデアや工夫で十分良い作品を作ることができるはずですよ。

何よりも、そういった本気の姿勢で取り組めば、普段の練習や演奏も変わり、それは必ず結

果にも結びつくでしょう。

課題はマイクにある

iPhoneで動画を撮ることは、誰でもすぐできると思いますが、いざ演奏を撮ってみると「あれっ？」と気付くはず。iPhoneのカメラは高性能で、映像はとてもきれいに撮れるのですが、問題は「音声」です。iPhoneで録った音声は音が割れ、多くの場合ドラムが大きくてボーカルが聴こえない…という状態になっています。これは市販のビデオ・カメラを使う場合でも同じです。音楽の主演はあくまで「音」なので、その音の本来の魅力を伝えられないのはもったいないですね。こんな状態では、演奏の細かい部分までチェックするのは難しくなってしまいます。何より少しでも良い状態で聴きたいですよね。

音割れなどの原因は、マイクの性能に対してバンド演奏の音が大きすぎることです。そもそもiPhoneやビデオ・カメラのマイクは爆音のバンド演奏を録音することを想定していないため、これは仕方ないことなのです。逆に言えば、マイクの問題さえ解決すれば、iPhoneでも音割



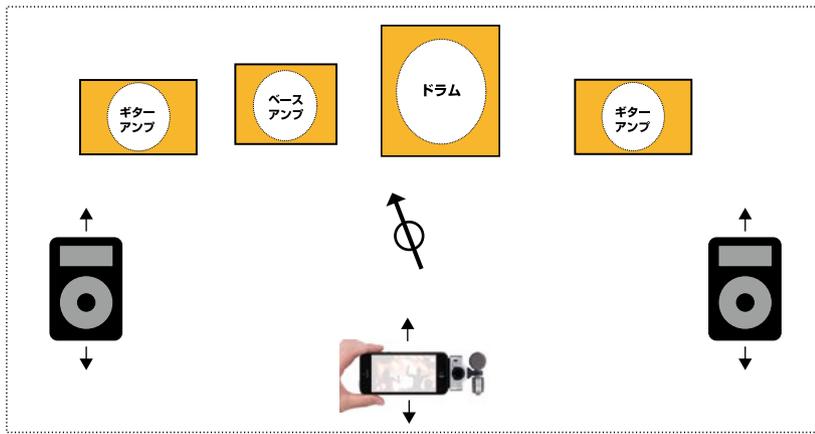
▲iOSデバイス用のマイクiQ7。Lightningコネクタを搭載したiPhoneやiPad Touch、iPadで使用できます



▲iPhoneを固定するためのスマートフォン・ホルダー（左）とマイク・スタンドに取り付けるための変換ネジ（右）



▲この3点のセットは軽音協ショップで販売中ですので、ぜひチェックしてください www.keionkyo.shop



▲楽器ごとの音量調整ができれば、PAスピーカーやマイク (iPhone) の位置を前後に動かして、ボーカルがしっかりと聴こえる位置を探っていきましょう

れない演奏動画を撮影できるということです。ここでは、ZOOMのiOSデバイス用マイク「iQ7」を使っていきます。iOS用のマイクはいろいろ販売されていますが、音楽を撮る場合は楽器メーカーの製品を選ぶのが安心です。

マイク・スタンドに設置する

これで音割れの問題は解決できましたが、ただ撮っただけでは各パートのバランスは悪いまま。ドラムばかり大きく聴こえてボーカルは聴こえない…なんて具合になっていることでしょう。次にこれを改善していきます。

まずは位置を調整したり、セッティングしやすくするために、スタンドに固定しましょう。スマートフォン用のスタンドも販売されていますが、意外と高価です。そこで考えたのが「スマートフォン・ホルダー」と「変換ネジ」を組み合わせることで、iPhoneをマイク・スタンドに設置する方法です。

部屋にカメラ用の三脚がある場合は、変換ネジは不要ですが、マイク・スタンドの方が高さや位置の微調節もしやすく、何より部屋に必ず設置されていると思いますので、こちらを使うのが良いでしょう。

すべてはバランスだ！

iQ7の場合、1台(2本)のマイクで録音しているので、録音後に各楽器の音量バランスを個別に調整することはできません。そのため、収録時に音楽的にバランスの良い音量レベルで演奏することが必要になります。ここで言う「バランスが良い」とは、ライブPAのようにその場でどう聴こえているかよりも「実際に録音さ

れる音がどうか」を意識する必要があります。これに関しては明確な正解があるわけではないので、演奏し、録音結果を確認し、それを反映してまた録音…という試行錯誤を繰り返さなくてはなりません。いくつかコツを紹介します。

ボーカルがドラムやアンプの音に埋もれてしまい、聴こえにくいというケースが多いと思いますが、これはボーカルが小さい、またはその他の楽器が大きすぎるのが原因です。

ボーカルの音量を基準に、他の楽器の音量を調整していきます。まずはPAでボーカルを適切なレベルで鳴らし、そこに合わせてドラムを追加。最後にギターやベースの音量を合わせていくようにすると良いでしょう。どうしてもボーカルが小さくなってしまった場合は、レコーダーとPAスピーカーの位置を近づけると、それだけPA(ボーカル)の音量が大きくなります。ドラムは音量調節が難しいと思うので、もし音量が大きすぎると感じたら、いつもより力を抜き気味に叩くような工夫が必要かもしれません。場合によっては、メンバーよりもPAスピーカーを前に出すのも有効ですが、距離が離れすぎると、自分たちの音が聴こえにくくなったり、部屋の実験によって音の輪

郭がぼやけていくので、これらを総合的に判断しながら位置を探っていきましょう。

レコーダーの位置が離れた場合は、メンバーがイイ感じに画面に収まるようにカメラをズームさせればOK。メンバーの立ち位置は自由で、カメラに全員が写っていれば大丈夫。ただし、ボーカルはステレオの中央から聴こえて欲しいので、スピーカーの位置に対して、常にレコーダーが中央になるようにセッティングすると聴きやすいサウンドに仕上がります。

1本のマイクで録る場合は、各楽器の音量はもちろん、位置や距離を工夫するのが大切です。最初は時間が掛かると思いますが、何度かテストすればコツが掴めるはずですよ。

また、せっかくステレオで録音できるので、楽器の配置にも工夫してみましょう。ボーカルやドラムは中央に、ギターやキーボードは左右に配置することで、広がりのあるサウンドになり、1つ1つの楽器の音も聴きやすくなるはずですよ。

作品であるという意識

いろいろな制限がある中でクオリティーの高い動画を作ることは大変かもしれません。しかし、「作品として少しでも良いものを作りたい！」と意識したり工夫することで、バンドのレベルアップや演奏に対する取り組み方にも変化が起ころうでしょう。高価な機材にこだわることなく、「作品を創る」「創意工夫する」というところが、軽音楽部の「部活動」としての意義ではないでしょうか。

最後になりましたが、せっかく良い音で撮っても聴く環境によっては良さを発揮することができません。ビデオを見返すときには、iPhoneの内蔵スピーカーではなく、イヤフォンを使ってしっかりと細部まで聴くことを忘れないでください！



▲目的に合った機材の選定とアイデアを組み合わせることで、十分にクオリティーの高い演奏動画を撮影することができます

これからの軽音楽部のスタンダードを先取り

ライブは「照明」で差をつける！

ライブ・イベントやコンサートは、ステージ上でパフォーマンスをする「演者」だけでは行えません。特に音響や照明、舞台装置（大道具、小道具、特殊効果、映像効果など）という、直接的に舞台の演出に関わる人々との相互理解はとても大切です。「表舞台」に立つ演者と共に、そのパフォーマンスをより効果的に見せる（魅せる）ことが「裏方スタッフ」の役割です。今回は、その中でも自分たちの演奏をよりステキに演出する「照明」の効果について考えてみましょう。

視覚は最大の演出効果

軽音楽部では、校内イベントや他校との合同ライブなど、自分たちで舞台を作ることが多いと思いますが、そんな時に音響や照明の知識があったり、設備が揃っていたりするととても便利です。しかし、音響設備は普段の練習で使っているものを流用したり操作することが可能だと思いますが、照明設備を所有している学校は少ないのではないかと思います。たしかに照明は「音」そのものへの効果はないのであまり必要性を感じないかもしれませんが、照明設備こそステージの演出にはなくてはならないものなのです。例えば、皆さんが観に行くアーティストのライブが蛍光灯の下で行われていたらどうでしょう。どんなに熱いパフォーマンスと音響であっても、その名の通り「白け」てしまいます。規模は違っても素敵なステージを作るといことにおいては、さいたまスーパーアリーナも視聴覚室も変わりはありません。軽音楽部の発表の場である「ライブ」をさらにカッコ良くするために、「照明」というものの効果と存在を再認識しましょう。

「照明」というと、いろんな色の光がステージ上をキラキラと照らし、いったい何色使われているんだろうと思ったこともあるかもしれません。しかし、理論的にはすべての光は「3つの色」から作り出されています。その3つとは「赤」「緑」「青」のことで、まとめて「光の三原色」と言います。例えば、赤と緑が混ざると「黄色」になり、そこに青が加わると「白」になります。大きく言うと、この3色のバランスをとって様々な色の光を作り出しているということです。

「色の世界」はとても魅力的です。人間の五感の中で「視覚」はもっとも感情に影響があるとされています。夏の青空は心を洗い、秋の夕日のオレンジはなぜか切なくなります。中華の赤は

食欲をそそり、緑はリラックス効果があるといえます。そんな視覚的な効果を「音楽」とうまく融合させれば、楽曲やパフォーマンスの魅力を何倍にもすることができるでしょう。これからの軽音楽部のスタンダードになりそうな「照明」をいち早く先取りして、ライブをカッコ良くキメちゃいましょう！

ライブ・パフォーマンスの大事な要素

1970年代頃から、ポピュラー・ミュージックのステージでは「視覚」の効果を活かすようになりまし。はじめは衣装やメイクといった演者自身によるものでしたが、その世界観を「舞台」という異空間に作り出すために、様々な「舞台装置」を使ってショーアップするようになっていきます。「ライブ」というものを芝居やミュージカル、オペラなどと同じようにとらえて演出を考え、1980年代にはロック・コンサートは1つの「総合芸術」の域にまで達します。

そこには、舞台上で演奏する「アーティスト」とともに、様々な効果を作り出す「スタッフ」が一体となって「エンターテインメント・ショー」を作り上げている姿があるわけですが、中でも「照明」は単なる「灯り」から「色（光）による視覚効果」へと進化しています。明るい曲調では元気よく晴れやかに、バラードなどの切ない楽曲ではその感情を盛り上げる…といった心象表現や、季節や時間帯、場所などの情景描写をすることによって楽曲の世界観や歌詞をサポートします。さらに、アーティストの表情やパ

フォーマンスに合わせたリズムに乗せたカラーチェンジなどは、音楽的な照明スタイルの特徴の1つかもしれません。

照明で楽曲を演出するには

楽曲にドラマがあるように、照明にもドラマチック性が求められます。イケイケな曲だからといって、ただ派手にすれば良いというものではありません。逆にしっとりとした楽曲だからと、薄暗いままでも良くないでしょう。激しい楽曲の中にも、少しクールになるセクションやリズムのキメのような部分もあると思います。そういったところにメリハリをつけることによって1曲の中にアクセントが生まれます。バラードなどでも、切ないシーンもあれば希望の見えるシーンもあるでしょう。季節が春から夏を抜けて秋冬と変わって行く中にストーリーがありドラマがあるのです。こういったドラマ性を大事にすることは、歌や演奏にも言えます。照明を考えたり実際にやってみることで、プレイヤーとしてのメンタル部分の成長につながるでしょう。

照明を担当する人は、歌詞や楽曲のイメージ、アーティストのキャラクターなど、様々な情報を総



▲操作も持ち運びも簡単なモバイル・ライティング・セット elite / LED Power Party Bar
価格：3万円（実勢価格：2万3,000円前後/税抜）

合して色やタイミングなどを計算しなければなりません。そのためには、「楽曲を事前に十分聴き込んでプランを練る」という作業が必要となります。軽音楽部のライブなどでは、部員が照明を担当することがほとんどだと思います。また、大会などの大きなイベントでは、外部の照明スタッフにお任せすることもあるでしょう。どちらにしても、大事なのは前もって資料（楽曲の音源や歌詞カードなど）を提出し、楽曲ごとに「照明の要望」を伝えることです。もちろん、これは音響スタッフにも同じことが言えますが、ライブの当日に初めて聴いた、セッティング図の要望には「おまかせします！」とだけしか書いていない…では、スタッフが最大限の効果を演出することはできません。セット図や要望書といった資料は必ずメットまでに提出しましょう。しかしその前に、要望を出すために自分たちがまず、この曲にどんな照明が合うのか、どんな効果が良いのかなどを理解しておく必要があります。

イマドキの照明機材

照明という分野や照明機材に対して、機材が重そう、熱で暑そう、操作や色彩についての専門的な知識が必要そう、といったちょっと取っ付きにくいイメージがあるのではないかと思います。しかし、それは昔の話。LEDライトが登場してから照明業界は一変しました。LEDを使用した照明機材は、操作が簡単で寿命が長く熱もありません。しかも、家庭用電源で基本的には大丈夫（念のため教室のアンペアとコンセントの口は事前に調べお

きましょう）で、値段もかなり低価格になりました。最近では教室や視聴覚室ぐらいの広さであれば十分な機能と操作性を持ったローコストな照明機材も登場しています。

基本的に照明は、灯体（光源が仕込まれているヘッド部分）とスタンド、そしてそれをつなぐケーブルがあればできてしまいます。本当は「立体的」にあてた方が効果にいろいろなバリエーションを作れるので、足元や後ろ、上からそれぞれ演者に向けてのもの、まわりの壁や客席に向けてのもの、演者を個別に狙う「スポットライト」などがあると最高なのですが、これらをすべて一気に揃えようと思うと、安価になったとはいえかなりコストがかかります。しかし、あるとないとでは大違いなので、どれか1つでも所有していると他校の生徒などが見た時にビックリすると思います。あとは、状況と環境によってグレードやオプションを考えていくわけですが、例えば、灯体の数やストロボ機能の有無、操作に必要な人数…など、ライブ本番を想像して考えてみると良いでしょう。

より複雑でオリジナリティーのある舞台照明にしたいのであれば、いくつかの色の組み合わせやパターンをプリセットでき、フェーダーでリアルタイムに調光できる「調光卓」と呼ばれるコントローラーがあるととても便利です。イマドキの照明機材の最大のポイントは「デジタル化」です。各照明は、端子があれば「DMX512」というデジタルケーブルでつなげることができます（ワイヤレスの機材もあります）。それによってシステムさえ組んでおけば、コントローラーで複数の照明を1人で操作できるようになります。照明機材も日々進歩しているのです。

照明機材を手に入れよう

では最後に、もう少し具体的にケースに応じた照明機材について考えてみましょう。持ち運びも操作も簡単で、しかもコストもあまりかからないのは、elite（イーライト）の「LED Power Party Bar」のようなモバイル・ライティングセットです。こうした機種が優れているところは付属のフットスイッチで、内蔵されたプログラムパターンをプレイヤーがステージ上で切り替えたり、照明のオン・オフをすることができます。また専用ケースも付いているので、取り扱いがラクなことも利点です。1台約3万円ほどで揃えられると思います。最近ではこういった「お手軽セット」でもDMX512ケーブルでの複数台接続が可能なので、様子を見て2台3台と増やしていくと良いのではないのでしょうか。

本格的に「照明による演出」をするつもりで、調光卓やスポットライト、フットライトなどを揃えようとするれば、周辺機材を含めて40万円ぐらいはかかってしまうかもしれませんが、演劇部やダンス部などの照明を必要としている部活動と共同で購入するという手もあるかもしれません。しかし、機材が増えれば増えるほど、プログラミングや操作、管理、持ち運びなどが大変になってきます。もしかすると、部員の中に「楽器より照明や音響の方が楽しい」「照明係として音楽に関わりたい」という人もいるのではないかと思いますので、軽音楽部の中に「照明部」を作ってしまうのも面白いかもしれません。ぜひチャレンジしてみてください。



▲灯体とスタンドには、それぞれキャリングケースが付属します



▲灯体は方向や角度を自由に調節することができます



▲専用のフットスイッチでも照明のオン/オフが操作可能です



▲LEDなので本体が熱くなることなく、取り扱いも簡単です



▲背面には各種ボタンやDMX端子、コンデンサーマイクを搭載



▲付属のスタンドを使用すると足元から照らすこともできます

仕事は周りの人との対話が大切です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回はサウンドクリエイターの仕事について、専門学校東京ビジュアルアーツの榎木（ちしゃき）先生に伺いました。

ー サウンドクリエイターの仕事について教えてください

榎木：「音楽を作る仕事」というのは次の2つに分類することができます。1つは作曲をメインとする「コンポーザー」という職種で、自身の楽曲を制作したり、第三者に提供するなど、純粋に曲を作る仕事のことを言います。もう1つはゲームやアニメをはじめ、映画やCMなど、ある作品に付随した音楽全般を作る仕事で、そこに従事する人たちのことを「サウンドクリエイター」と総称しています。ここ数年、サウンドクリエイターを志望する学生が増えているのですが、人気の背景にあるのは、SNSをはじめとするツールでの「動画投稿」にあると思います。例えば、米津玄師さんが好例だと思うのですが、「良い歌だな…」というところから始まり、「この人はどういう仕事をしているんだろう？」とか「普段は何をやっているんだろう？」という風に調べてみると、自身で歌って、作曲をして、編曲をして、動画を編集して…と、すべてをこなしているんですね。そういった部分からも、サウンドクリエイターという職種が身近に感じられているのではないかと思います。

ー 入学前に、ある程度の演奏スキルや知識は必要ですか？

榎木：専門学校は何も知らない状態で入学しても、しっかりと授業を通じて指導し、卒業させる…というのが1つの目的ですので、特

に必須の知識やスキルというはありません。ただ、「あれば良いな…」というスキルはあって、例えば、パソコンで作曲をするので、パソコンの操作に慣れていないと、最初の段階で戸惑ってしまうかもしれません。音楽ソフトでなくても良いので、「パソコンの基本的な操作に慣れておく」というのは、やっておいた方が良いでしょう。

ー この仕事の楽しいところや、やりがいを教えてください

榎木：音楽が好きで、作曲に興味があって…ということで就く職業ですので、まず仕事そのものが楽しいと思います(笑)。やりがいの部分で言いますと、いろいろな人たちに自身の音楽を聴いてもらうことになるので、そこも楽しいと感じる点ではないでしょうか。

ー この仕事の大変なところを教えてください

榎木：作品に携わるという立場上、「締め切り」のある仕事なので、どうしても時間に追われてしまうという部分では、大変に感じることもあると思います。また、一から作品を生み出さなくてはいけないので、どうしても煮詰まってしまったり、アイデアが思い付かないという時にも大変な思いをすることがあります。

ー この仕事は、どんな人にオススメですか？

榎木：ネットサーフィンが得意な人にオススメです。例えば、何か気になることがあったら

調べ物をしたり、物事を掘り下げていける人というのが、作曲の仕事に向いていると思います。というのも、曲が出来上がったら、「はい、おしまい」ではなく、そこから何回も「こうしたら良いんじゃないか？」とか「こっちの方がもっと素敵かも…」という風に見直しをしたり、改善を繰り返していくことになります。「はい、曲が完成した! さあ、次だ!」というのではなく、どんどん掘り下げていける人の方が性格的にも合っていると思います。

ー サウンドクリエイターとして、仕事をするために大切な要素は何でしょうか

榎木：1つ目は「コミュニケーション能力」です。意外と作曲やモノを作る仕事というのは自分一人で作るイメージがあるかもしれないのですが、実はたくさんの人たちとコミュニケーションを取りながら進めていくことになるので、周りの人と対話をしながら仕事にあたるのが大切です。

2つ目は言い方が難しいのですが、「頑固さ」のようなものが必要になります。繰り返しになりますが、いろいろな人たちと関わることになるので、当然、様々な意見を聞くことになります。音楽は人によって捉え方や好みが分かれるものなので、その際に自分自身の中に「芯」がないと、「自分はどのような作品を作りたいのか？」ということを見失いがちになるので、そういう意味での、頑固さが必要だと思います。

3つ目は「持続する力」です。ここ数年、サウンドクリエイターの人気が高まっているほか、定年というのがなく、ずっと続けていくことができる仕事なので、人数も増えています。そういった中で、簡単に辞めることはできますが、ある1つのことがうまくいかなかったからといって、そこですぐに諦めるのではなく、どんどん努力を重ね、ずっと続けていくことが大切なので、持続力も必要な要素の1つだと思います。



▲ゲームやアニメなどに付随した音楽を作る仕事です



▲パソコンやキーボードを駆使して楽曲を制作します

好きなことを
しっかり学ぶ



パート別レッスン
バンド体験
ライブPA・照明体験
レコーディング体験
サウンドクリエイター体験

TOKYO VISUAL ARTS

OPEN CAMPUS

オープンキャンパス 2021

8月 1 [SUN]
9 [MON]
Special Day ▶ 14 [SAT]
15 [SUN]
Special Day ▶ 21 [SAT]
22 [SUN]
29 [SUN]

EVENT PROGRAM

《オンライン 10:30~12:00》
《来校 / オンライン 13:30~16:00》

- * 学科説明会
- * 体験授業
- * 入学説明会
- * 施設見学
- * 保護者説明会

予約はこちら!



現役で活躍するプロの先生や在校生が丁寧に
対応するので、ぜひお気軽にご参加ください。

音楽総合学科

第一線で活躍するプロが直接指導！
実践的カリキュラムで憧れの業界へ！

授業は実習をメインに、業界の第一線で
活躍するプロが少人数体制で直接指導。
徹底的に現場を意識した設備・環境の中
で学びながら、2年間で現場の即戦力と
なる人材へと導きます！



Vocal / Guitar / Bass / Drum



Soundcreator



PA



Lighting



Recording

TOKYO
VISUAL
ARTS

Adachi学園グループ

学校法人 **東京ビジュアルアーツ**
専門学校

〒102-0081 東京都千代田区四番町11 www.tva.ac.jp/

お問い合わせ

東京ビジュアルアーツ 入学相談室

TEL 0120-64-6006

Email: info@tva.ac.jp



設置学科：音楽総合学科 / 映像学科 / マスコミ出版・芸能学科 / 写真学科 / 特殊メイク学科 / パフォーミングアーツ学科 / ダンス学科

こだわりを持つことが大切です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回はテレビや映像に関する仕事について、専門学校名古屋ビジュアルアーツの内藤さんに伺いました。

ーテレビや映像の仕事について教えてください

内藤：非常にたくさん職種があるので、すべてを説明することはできないのですが、テレビを例に挙げると、番組を作る上での中心になる「制作スタッフ」という仕事があります。その中にアシスタント・ディレクターやディレクター、プロデューサー、もっと細かいところでは、リサーチャーや編集マン、MA、音響効果、放送作家といった職種が挙げられます。その制作スタッフの両脇を固めるのが、「技術スタッフ」と「美術スタッフ」です。カメラや音声、照明などが技術系の仕事で、大道具や小道具、持ち道具、メイク、衣装などが美術系の仕事になります。細かい部分の言い方の違いや、さらに細分化されるものもあると思いますが、テレビをはじめ、映画やミュージックビデオ、CMなどの「映像を制作する」という仕事で考えると、制作・技術・美術の3つに分類することができます。

ー入学前に、ある程度のスキルや知識は必要ですか？

内藤：番組制作や技術、美術に関する仕事は、なかなか高校生のうちから体験したり、経験できる分野ではないので、特に必要なスキルや知識はありません。ただ、「高校生の間にやっておいた方が良いことはありますか？」という質問をいただくことが多いので、そこでお伝えしているのは、テレビや映画、ミュージックビデオやYouTubeなど、プロが制作した番組や

作品をただ見るのではなく、様々な視点で視聴する姿勢をオススメしています。制作の裏側であったり、「どういう意図で、こういう番組構成にしているのだろうか?」「どんな手法で、こんな撮影をしているのだろうか?」という点に注目したり、気にしながら視聴するのは高校生のうちから実践できると思います。ポーツとテレビを見ながら笑うのではなく、制作の背景を意識しながら視聴することができると、そこから新たな興味が湧いたり、意欲が高まってくるものなので、オススメです。

ーこの仕事の楽しいところや、やりがいを教えてください

内藤：1つ目は、いろいろな職種や業種の方々と仕事ができるのが、やりがいの1つに挙げられます。ミュージシャンや俳優、お笑い芸人やタレントなど、芸能界で活躍されている方をはじめ、専門家の監督が必要な番組の場合は医師や弁護士、国家公務員や大学教授など、なかなか普段は話を聞くことができなったり、接することがない方々と仕事をすることができます。2つ目は、特にテレビの仕事に言える部分なのですが、視聴者の反応がダイレクトに伝わってくる点です。例えば、自分が担当した番組はオンエアを確認するのですが、その際にTwitterで視聴者の投稿をチェックしています。テレビ番組や映像媒体というのは視聴してくれた人たちの感想をダイレクトにキャッチしやすいメディアなので、そこが仕事のやりがいにも直

結すると思います。

ーこの仕事の大変なところを教えてください

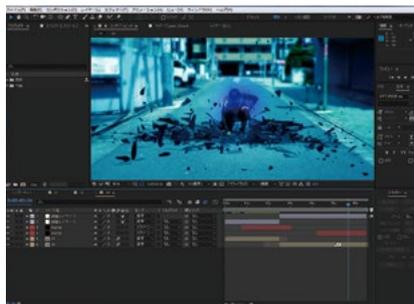
内藤：一概には言えない部分もあるのですが、テレビにしる、映画や映像作品にしる、いわゆる本番までの「仕込み」の部分が最も大切であり、大変に感じる部分だと思います。撮影の開始／終了時間をはじめ、こだわりたい部分や修正が必要など、編集にあてる時間もかかるため、いわゆる「9時に出社して、18時に退勤…」という世界ではない、勤務体型が特殊な業界です。また、特に地上波の番組は撮影や編集のタイムリミットがとてもしビアなので、そこへのプレッシャーもあると思いますが、それらを上回るくらいに楽しくて、面白い業界です。

ーこの仕事は、どんな人にオススメですか？

内藤：好奇心が旺盛な人に向いていると思います。テレビや映画をはじめ、映像作品全般に言えることですが、「面白い」「感動した」「すごい」と視聴者が口にするなど、この業界は人々の感情に問いかけていく部分が大きい世界です。その際、新しいアイデアを盛り込んだり、切り口を変えてみるのが大切であり、これまでやってきたものを続けていくだけでは飽きられてしまうので、想像力を駆使できる人や何事にも興味や関心を持てる姿勢が重要です。また、特に映画やミュージックビデオは最新技術や表現方法を積極的に取り入れる分野なので、そういった業界の動向やトレンド、新しい技術にも目を向けていくことになります。結果的に、それが興味や関心、好奇心につながるように、どんな部分にも「こだわりを持つこと」が大切です。これが「仕事」ではなく「作業」になってしまうと、どんどん質が低下し、つまらないものになってしまいます。映像制作に関わる仕事というのは、いわゆる1つの「表現者」ですので、どんな番組にしる、作品にしる、こだわりを持って臨む姿勢が必要だと思います。



▲最新技術を駆使したプロジェクション・マッピング実習



▲撮影した映像に特殊効果を施す技術も授業で学びます

エンターテインメントの総合校

NVA 名古屋ビジュアルアーツ

NAGOYA VISUAL ARTS

大好きな**音楽**で プロになる。

ミュージシャン学科

ボーカルコース

ダンスボーカルコース

ギターコース

ベースコース

ドラムコース

キーボードコース

音響学科

PAコース

照明コース

企画・制作コース

レコーディングエンジニアコース

サウンドクリエイターコース

映像音響コース

オーブン
キャバス
開催中!

8/4_水・8_日・11_水・21_土・22_日・25_水・29_日

レッスン体験 レッスン体験 LIVE 体験 レッスン体験 LIVE 体験 レッスン体験 **音楽分野Fes**

9/4_土・12_日・18_土・26_日

無料送迎
バス運行日

※それ以外の日程では
シャトルバスを運行します

お申し込みは
コチラから



2022年度

AO入学 エントリー 受付中!

学校法人Adachi学園

NVA 名古屋ビジュアルアーツ

NAGOYA VISUAL ARTS

文部科学省認定専修学校

職業実践専門課程認定校

お問い合わせ

入学相談室

TEL:0120-7575-48

Email:go@n-visual.net



パフォーマンスアート学科 / ミュージシャン学科 / 音響学科 / 映像学科 / 写真学科
Performing Arts / Musician / Sound / Broadcast&Movie / Photo

相手の要求をくみ取れる力が大切です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょうか。今回はサウンドクリエイターの仕事について、日本工学院専門学校ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコースの下條先生に伺いました。

ー サウンドクリエイターの仕事について教えてください

下條：ポップスの曲を作ったり、アーティストに楽曲を提供したり、一方では、ゲームの音楽を作ったり、テレビやニュースのBGMを制作するなど、端的に言うと「音楽（音）を作る仕事」です。ユニークなところでは、映画やテレビ番組などに臨場感を与える「フォーリーサウンド（効果音）」を作ることもサウンドクリエイターが手がけており、例えば、刀が「カキン、カキン」と鳴っているイメージに近い音を作るのも仕事の1つです。

ー 入学前に、ある程度の演奏スキルや知識は必要ですか？

下條：専門学校では、基礎的なところから学校のカリキュラムで指導を行うので、楽器の演奏やパソコンでの音楽制作が未経験でも、まったく問題なく進められるような環境を整えています。高校生のうちからやっておいた方が良いのは「たくさんの音楽を聴く」ということでしょうか。なぜかと言うと、人間は見たり、聞いたりしたものからしか、アウトプットができないんですね。今まで聴いてきた楽曲や音楽ジャンルが元となり、多種多様なメロディーやコード進行、アレンジなどを生み出すことができると思うので、ぜひ選り好みせず、いろいろな音楽を聴いておくことをオススメします。

また、これは教員としての私のポリシーで

もあるのですが、本当に良い作品やアレンジしか誉めないようにしています。何でもおだてて、褒めてしまうと、それ以上の能力を引き出せなくなってしまうと考えており、あえて厳しい目で評価し、本当に「良いな！」と思ったものしか褒めないように心がけています。それに、言われた側の本人も、場合によっては100%納得していないものの、作品を提出した…ということがあってと思います。それなのに「良いね！」と言われてしまうと、あまり良い気持ちがせず、不完全燃焼に終わってしまうと思うので、学生とはシビアに向き合っています。

ー この仕事の楽しいところや、やりがいを教えてください

下條：仕事の大半を一人で行うものなので、どうしても大変に感じたり、しんどくなってしまうことがあります。ですが、そういう思いをしながら作った曲がリリースされ、いろいろな人たちが聴いてくれたり、「良かったよ！」といった感想が聞けた時はホットした気持ちになり、「作って良かったな…」という風に、やりがいを感じます。

ー この仕事の大変なところを教えてください

下條：作業自体は一人で行うのですが、その先には依頼者である「クライアント」がいます。その方々と一緒に仕事を進めていく中で、相手は音楽や楽曲制作の知識や経験が豊富な

わけではないので、先方からの要求や難題を噛み砕いて、最大限に良い結果を出せるようにするにはいけない部分が大変に感じます。ここのボタンを掛け違えていると、出来上がった結果が望みのものではなかった…となり、残念な結果に終わってしまうので、相手の要求をくみ取る姿勢が大切です。

ー サウンドクリエイターとして、仕事をするために大切な要素は何でしょうか

下條：1つ目は「向上心」だと思います。音楽はファッションと同じで、日々進化を続けており、どんどんシーンが変わっていくものなので、そういった部分にしっかりとアンテナを向けられて、適応することが大切です。楽曲の作風も、ずっと同じようなものばかりを作るのではなく、ヒップホップやローファイなジャンルも手がけるなど、幅広く対応していける姿勢や柔軟さが必要だと思います。

2つ目は「円滑なコミュニケーション能力」です。楽曲を制作したり、アレンジを施していく上で相手の要望をくみ取り、それを体現しないといけないので、そこでのコミュニケーションがとても大切です。また、表現が抽象的になってしまった際に、相手が本当に伝えたいことをうまく誘導し、解決に導いてあげる「気遣い」も必要な要素の1つだと思います。

3つ目は、仕事全般に言えることかもしれないのですが、「楽しめるかどうか？」という点です。サウンドクリエイターの仕事は一人で部屋にこもって作業をすることが多いので、思い通りのものがないと、気持ちが暗くなったり、焦ってしまうことがあります。ですが、そんな大変な状況の中でも、良いフレーズができた時に「やった、できたぞ！」という風に一人で小躍りができると良いですね。単純なことではあるのですが、そういった少しの変化を楽しめたり、自分の作品を好きになれるポジティブな思考の人というのが、この仕事に向いていると思います。



▲カリキュラムに基づき、基礎的な部分から丁寧に指導



▲DAWソフトを駆使し、楽曲やBGM、効果音を制作

音楽を奏でる!

PLAY MUSIC!

プロもうらやむ充実した施設・設備。業界屈指のスキルを有した講師陣。強力な業界デビュー&就職サポートで将来も安心。
あらゆる音楽好きにマッチした環境の日本工学院で、あなたの想いを音楽に乗せて奏でよう!



日本工学院 × avex entertainment
Startline FM3コハマ
84.7MHz
毎週土曜日20:30~0.A.
(パーソナリティ)
坂詰美紗子(本校卒業生)
中村豪(やるせなす)

ミュージックアーティスト科 職業実践専門課程

蒲田キャンパス 八王子キャンパス
プレイヤーコース/ヴォーカリストコース/サウンドクリエイターコース

コンサート・イベント科 職業実践専門課程

蒲田キャンパス 八王子キャンパス
コンサート制作コース/コンサートPAコース/コンサート照明コース/
コンサート舞台コース/イベント企画コース

音響芸術科 職業実践専門課程

蒲田キャンパス 八王子キャンパス
レコーディングエンジニア専攻/MAエンジニア専攻/ラジオスタッフ専攻

ダンスパフォーマンス科 職業実践専門課程

蒲田キャンパス
プロダンサー専攻/バックダンサー専攻/ダンス&ヴォーカル専攻/
コレオグラファー専攻/ダンスインストラクター専攻/テーマパークダンサー専攻

オープンキャンパス+体験入学

7.18(日) 22(木・祝) 23(金・祝) 31(土)

8.1(日) 7(土) 8(日・祝) 9(月・振) 20(金) 21(土) 22(日) 28(土) 29(日) 以降
順次開催

日本工学院 ミュージックカレッジ

日本工学院専門学校

日本工学院八王子専門学校

☎0120-123-351 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22

☎0120-444-700 〒192-0983 東京都八王子市子倉町1404-1

<https://www.neec.ac.jp/>

[@nihonkougakuin](https://www.instagram.com/nihonkougakuin)

[@neec_official](https://twitter.com/neec_official)

[nihonkogakuin](https://www.facebook.com/nihonkogakuin)

総合選抜型
(AO入学)
エントリー
受付中!



さあ、一緒に未来へ 進んでいこう。

この場所では、最高の環境で
スキルとセンスを磨くことができる。
仲間たちと笑って泣いて、
新しい自分を発見できる。
夢を叶えるための、準備ができる。

CAT MUSIC COLLEGE

音楽とダンスの専門学校CATの

オープンキャンパス

詳しくは
WEBサイトを
チェック♪



学校法人 大阪創都学園

「職業実践専門課程」認定校

キヤットミュージックカレッジ専門学校

総合学科 総合音楽専攻、総合スタッフ専攻 ミュージシャン学科 ボーカル専攻、ギター専攻、ベース専攻、ドラム専攻、キーボード専攻、ミュージッククリエイター専攻 音楽技術学科 音響エンジニア専攻 (PAコース、レコーディングコース)、照明スタッフ専攻、音楽ビジネス専攻、ギタークラフト専攻 ダンス学科 ストリートダンス専攻 (ダンスマスターコース、ダンスインストラクターコース)、ダンスパフォーマンス専攻 (ボーカル&パフォーマンスコース、テーマパークダンサーコース)

www.cat.ac.jp

LINE @cat-music

TWITTER @catmusiccollege

IG @catmusiccollege

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-29-18 大阪メトロ御堂筋線「江坂」駅徒歩約3分 ☎0120-256-258 E-mail info@cat-music.jp

東京と大阪に拠点を持つ、アニメ・マンガ・声優・アニソンに特化した専門学校



学校法人 創都学園

「職業実践専門課程」認定校

東京アニメーションカレッジ専門学校

☎0120-830-800 〒161-0033 東京都新宿区下落合 1-1-8
https://www.tokyo-anime.jp E-mail info@tokyo-anime.jp



学校法人 大阪創都学園

「職業実践専門課程」認定校

大阪アニメーションカレッジ専門学校

☎0120-020-578 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-29-18
https://www.osaka-anime.jp E-mail info@osaka-anime.jp

東邦音楽大学

Musicオープンキャンパス

8/1日・8/29日 10:30~15:30

● 川越キャンパス

参加
無料

入退場
自由

無料体験
レッスンのみ
要申込



芸能・エンタメを音大で、学ぼう!! パフォーマンス総合芸術文化専攻 プロモーション

要
申込

参加
無料

7/22日(木祝)・9/12日 13:30~16:00

● 文京キャンパス

学生パフォーマンスもあります!



音楽療法士になろう! 高校生のための音楽療法入門講座

要
申込

参加
無料

9/11日・10/23日 14:00~15:30

● 川越キャンパス

無料体験レッスンもお受けいたします!



東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科

ピアノ専攻/声楽専攻/管弦打楽器専攻/音楽創造専攻/音楽療法専攻
Konzertfach(演奏専攻)/教職実践専攻/パフォーマンス総合芸術文化専攻

川越キャンパス 〒350-0015埼玉県川越市今泉84 TEL.049-235-2157

文京キャンパス 〒112-0012東京都文京区大塚4丁目46-9 TEL.03-3946-9667

お問い合わせ E-mail nyu-shi@toho-music.ac.jp

ウェブサイト <https://www.toho-music.ac.jp>



音楽/エンタメ業界
EXPO2021
参加します!!



音楽・芸能・楽器の専門学校

TOKYO



Entertainment

やりたいことが見つかる!

音楽アーティスト科

- ヴォーカルコース
- ダンスヴォーカルコース
- サウンドクリエイターコース
 - ▶クリエイター専攻
 - ▶プレイヤー専攻
- シンガーソングライターコース
- ギターヴォーカルコース
- ギターコース
- ベースコース
- ドラムコース

芸能タレント科

- 俳優養成コース
- 声優養成コース
 - ▶演技専攻
 - ▶アーティスト専攻

音楽芸能スタッフ科

- アーティストスタッフコース
 - ▶マネージャー/レコード会社専攻
 - ▶ファンクラブ/デザイン専攻
- レコーディングコース
- PA&レコーディングコース
- PAコース
- 照明コース
- ライブハウスコース
- バンドスタッフ・ローディーコース
- 舞台製作コース
- 企画制作コース
- 音楽スタッフ総合コース
 - ▶プロダクション専攻
 - ▶サウンドエンジニア専攻
 - ▶照明/映像専攻

ピアノ調律科

- ピアノ調律コース
- ピアノ/管楽器コース

管楽器リペア科

- 管楽器リペアコース
- 管楽器/打楽器コース

ギタークラフト科

- ギター製作コース[2年制]
- ギター製作総合コース[3年制]
 - ▶ギター製作専攻
 - ▶ギターリペア専攻
 - ▶アンプ・エフェクター専攻
 - ▶ギターデザイン専攻

楽器技術研究科

OPEN CAMPUS

体験授業・学科共通説明会・コース別オンライン個別相談会

AO
エントリー
受付中!!

6月13日(日).27日(日) 7月11日(日).25日(日)

8月1日(日).22日(日).28日(土).29日(日)

AOエントリーを満たす「平日学校見学会」・「オンライン学校説明会」等も開催中!

お申込み・体験授業の詳細はコチラ >



学校法人イーエスピー学園

専門学校 ESPエンタテインメント東京

入学事務局(本館)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-19

TEL:03-3368-6840/FAX:03-3368-6815

FREE 0120-37-6986

<https://www.esp.ac.jp>





Choose your color.

選べる多彩な23カラー

ストレートなロック・サウンドを携えた"WST-STD"。
まるでカスタムオーダーのような感覚でボディ・カラーをチョイス出来るトータル23カラーをラインナップ。



Greco[®]

WS Series **WST-STD**
¥Open Price
Proudly made in Japan



OPEN CAMPUS 2021



MB専攻でどんなことを学べるか、もっと深く知るチャンス!!

完全予約制

夏のオープンキャンパス

7.18 sun 13:00~15:00

第1部 13:00~

ミュージックビジネス特別講座「音楽ビジネスって何だ?」

音楽業界の基本と進化を知り、EXPO2025をきっかけにますます重要な産業になる音楽・エンタテインメントの仕事について理解を深めます。進学だけでなく、その先の就職・就業も見据えた進路を考えることが、あこがれの仕事への大きなステップとなるでしょう! MB専攻についての説明も行います。

第2部 14:00~

受験対策講座

※受講対象: MB専攻のオープンキャンパス参加が2回目以上の方、または第1部(13:00~)の「ミュージックビジネス特別講座」に参加された方。

完全予約制です。実施内容及びお時間は、[本学Webサイト](#)でご確認ください。

お申込みは
コチラ!

参加無料
要申込

MB専攻オープンキャンパス > 受験に向けた「対策講座」を実施します! (90分程度)

<p>7.26 mon 13:00~</p> <p>専攻説明会 受験対策講座 個別相談</p>	<p>8.2 mon 13:00~</p> <p>専攻説明会 受験対策講座 個別相談</p>	<p>8.3 tue, 4 wed 13:00~</p> <p>専攻説明会 受験対策講座 個別相談</p>	<p>8.29 sun 13:00~</p> <p>専攻説明会 受験対策講座 個別相談</p>	<p>9.18 sat 13:00~</p> <p>専攻説明会 & 受験対策講座</p>
--	---	--	--	---

対象 専攻説明会: MB専攻オープンキャンパスが**初参加**の方
 受験対策講座: MB専攻オープンキャンパス参加が**2回目以上**の方(各回内容は同じです)

オンラインガイダンス & 個別相談

MB専攻に関する説明や個別相談をオンラインで実施しています。勉強の進め方や学生生活など自由にご質問いただけます。

日程	月曜~金曜 ※土曜は要相談、日曜不可。
時間	10時~17時スタートまで(各1時間程度)
利用ツール	ZOOM

※実施日までに最新の状態にしてください。

LINE 公式アカウント

LINEで気軽に問合せ、進路相談も!

[対応時間]
平日9:00~17:00、土日お休み

※はじめの自動返信メッセージ以降は、MB専攻教員やスタッフと個別のやりとりになります。※タイミングによっては、お返事までに2~3日いただく場合もありますが必ずお返事します。

友だち追加はコチラ!

担当教員

岡本 忠好
【教授】
THE ALFEE、エレファントカシマシを担当した元レコード会社A&R担当

西川 典彦
【教授】
B'z、AIなどに携わった元レコード会社員、元マネージャー